

歯科医師会における男女共同参画等に関する
モデル意識調査報告書

平成22年6月

社団法人 日本歯科医師会
女性歯科医師の活動に関する検討委員会

はじめに

政府は男女共同参画社会基本法第13条に基づき男女共同参画基本計画を策定するとともに、平成17年12月第2次男女共同参画基本計画において、2020年までにすべての指導的地位に女性が占める割合を30%にする、いわゆる「202030」の実現を提唱し、各分野で積極的改善措置に自主的に取り組むことを奨励している。これは、政策・方針決定過程に女性が参画することを促す時限つき数値目標である。

女性歯科医師数に目を転じると歯科医師総数に対しての女性の割合は年々増加しているが、本会会員総数のうち女性会員の割合は微増にすぎず、20年以上8%台に留まっている。一昨年は歯科医師国家試験合格者の女性割合は40%を超え、このまま推移すると将来的に本会組織率低下の要因となるものであり、本会として女性歯科医師の活動を取り巻く諸問題に取り組むことは、女性会員のみならず歯科医師会の存在感に係わる問題として重要な意味があるものと推察する。

日本の歯科医療を守るため、本会が行政等に対して政策提言するため力を持ち続けることは極めて重要であり、そのためにも本会の組織率を低下させないことは最重要課題の一つであることは明らかである。とりわけ国家挙げての男女共同参画基本計画の下で、女性歯科医師の更なる活躍は歯科医師会の活性化のためにも重要と考える。

そこで、日本歯科医師会は、会員の女性会員に対する意識や男女共同参画に関する意識等を把握し分析するため、モデル調査を都道府県歯科医師会へ依頼し、その結果368件の回答を得た。

本委員会はこの回答をもとに「歯科医師会における男女共同参画等に関するモデル意識調査報告書」を取りまとめた。

最後に、本調査にご協力いただいた都道府県歯科医師会及び会員各位に心から感謝したい。

平成22年6月

日本歯科医師会

女性歯科医師の活動に関する検討委員会

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収状況	1
4. 調査実施体制	1

II. 調査結果の詳細

1. 回答者の構成（年齢、性別、役員等の経験）	2
2. 歯科医師会における女性会員や日本歯科医師会会員の減少による問題	3
① 歯科医師会における女性会員の割合	3
② 歯科医師会における女性会員の必要性	3
③ 女性会員が増加した場合の期待	4
④ 女性会員が増えない要因	5
⑤ 女性未入会者対策	6
⑥ 日本歯科医師会が弱体化した場合に引き起こる問題	8
3. 性別役割分担意識	9
① 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」との考えについて	9
② 「子育ては、やはり母親でなくては」との考えについて	9
③ 「歯科医師会など団体の代表者は、男性のほうがうまくいく」との考えについて	10
4. 地位の男女平等性	10
① 「家庭生活」における男女平等性	10
② 「職場」における男女平等性	11
③ 「教育」における男女平等性	11
④ 「政治」における男女平等性	12
⑤ 「法律や制度」における男女平等性	12
⑥ 「社会通念・習慣・しきたり」における男女平等性	13
⑦ 「歯科医師会」における男女平等性	13
5. 男女共同参画社会基本法	14
① 男女共同参画社会基本法の認知度	14
② 「男女共同参画社会基本法の考え方」と「歯科医師会の活動」	14

6. 女性会員の役員登用および委員会参画	15
①歯科医師会役員への女性登用	15
②日本歯科医師会における委員会への女性参画	15
③歯科医師会役員への女性登用が少ない理由	16
④女性役員を増やすための方策	17
⑤女性役員への期待	18
7. 歯科医師会の役員経験	19
①歯科医師会役員を経験して得られたこと	19
III. 考 察	20
1. 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成19年8月調査）等 と本モデル意識調査との比較	20
2. 歯科医師会における女性会員の参画	23
3. クロス集計結果	24
①問16「歯科医師会役員の女性登用」と問10「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき である」	24
②問16「歯科医師会役員の女性登用」と問11「子育ては、やはり母親でなくては」	25
③問3「役員等の経験」と問21「歯科医師会役員を経験して得られたこと」	26
④問7「女性会員が増えない理由」と問8「どうすれば女性会員が増えるか」	27
⑤問13-2「職場における男女平等性」もしくは問13-6「社会通念・習慣・しき たりににおける男女平等性」と問18「歯科医師会における女性会員が少ない理由」	27
⑥問17「日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきと の考えについて」と問3「役員等の経験」	29
⑥' 問17「日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべき との考えについて」回答した「男女の年齢」	30
IV. おわりに	31
資料編	
1. 集計結果グラフ（複数回答◎印+○印）	33
2. 調査票	38

I. 調査の概要

本調査は日本歯科医師会が実施し、調査票の集計については株式会社山手情報処理センターに委託した。

1. 調査の目的

本調査は、日本歯科医師会会員における、女性会員に対する意識や男女共同参画に関する意識等を把握することを目的とする。

2. 調査方法

- ① 調査対象：日本歯科医師会会員を主とした歯科医師
- ② 対象者数：376人
- ③ 選出方法：都道府県歯科医師会で原則として40歳未満・40歳代・50歳代・60歳以上の各年齢層の男女合計8名を選出
- ④ 調査方法：郵送等による配布・回収
- ⑤ 調査期間：平成21年11月20日～平成22年1月29日
※締切日は平成22年1月29日であったが、平成22年2月10日までに回収された調査票を有効票として集計を行った。
- ⑥ 調査項目：資料編の調査票を参照

3. 回収状況

発送数	376票
総回収数	368票（回収率：97.93%）
うち有効回答数	368票（有効回答率：100.0%）

4. 調査実施体制

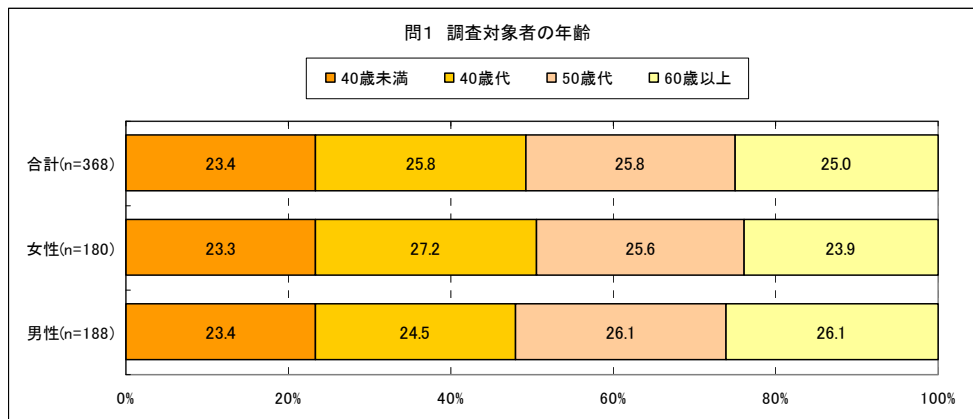
本調査の調査実施体制は、以下の通りである。

調査票及び報告書作成	日本歯科医師会女性歯科医師の活動に関する検討委員会
対象者抽出、発送、回収	都道府県歯科医師会、日本歯科医師会
集計	株式会社山手情報処理センター

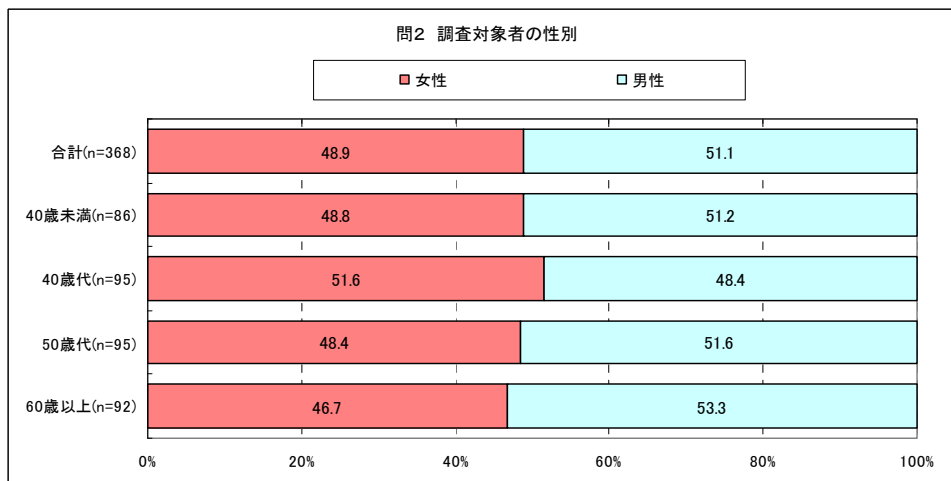
II. 調査結果の詳細

1. 回答者の構成（年齢、性別、役員等の経験）

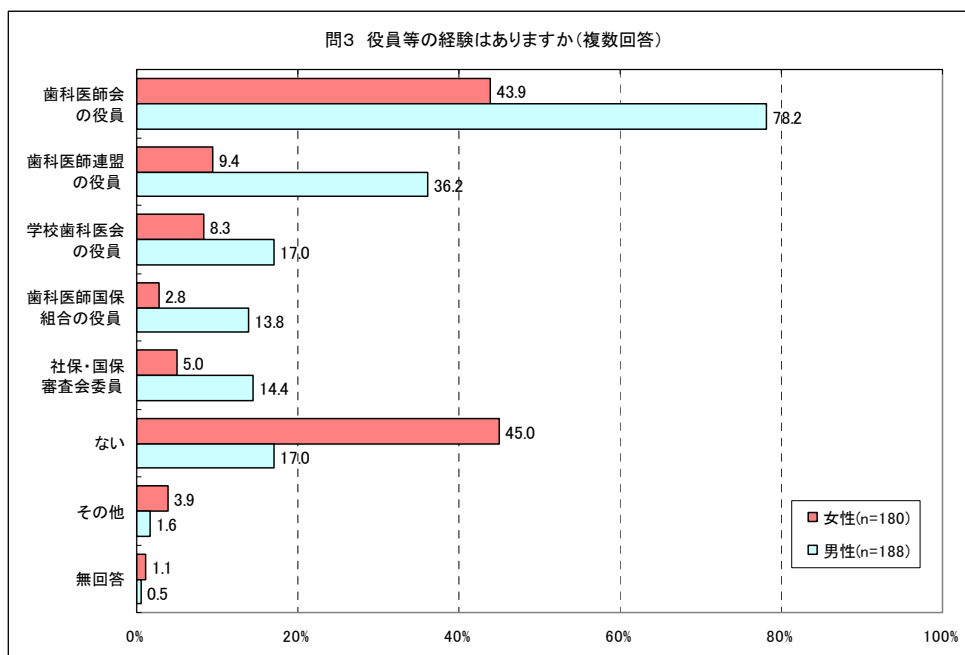
①年齢



②性別

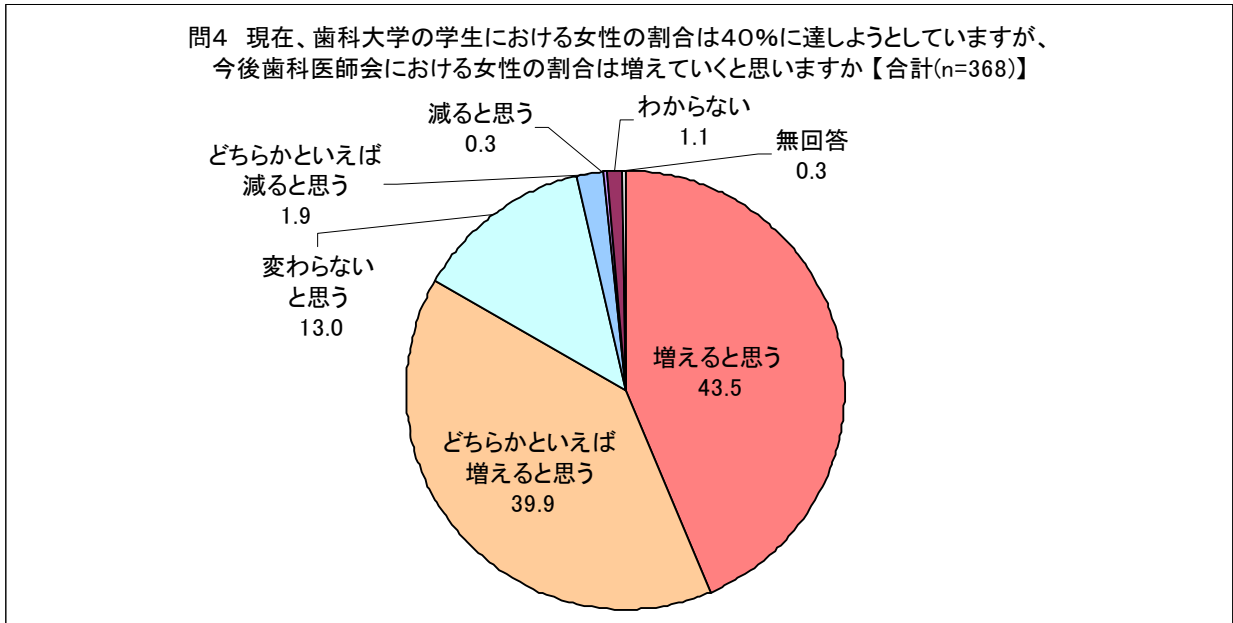


③役員等の経験



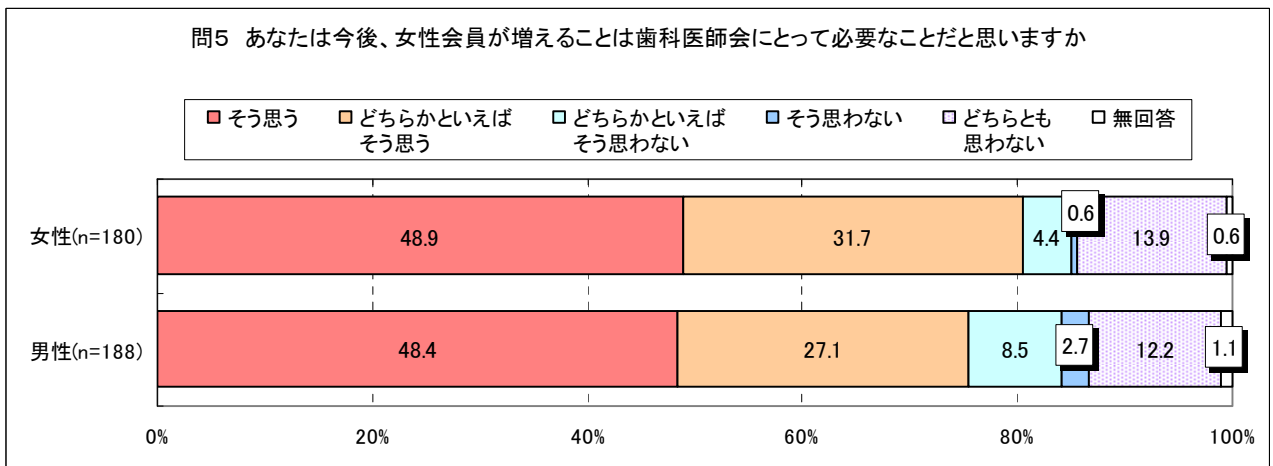
2. 歯科医師会における女性会員や日本歯科医師会会員の減少による問題

① 歯科医師会における女性会員の割合



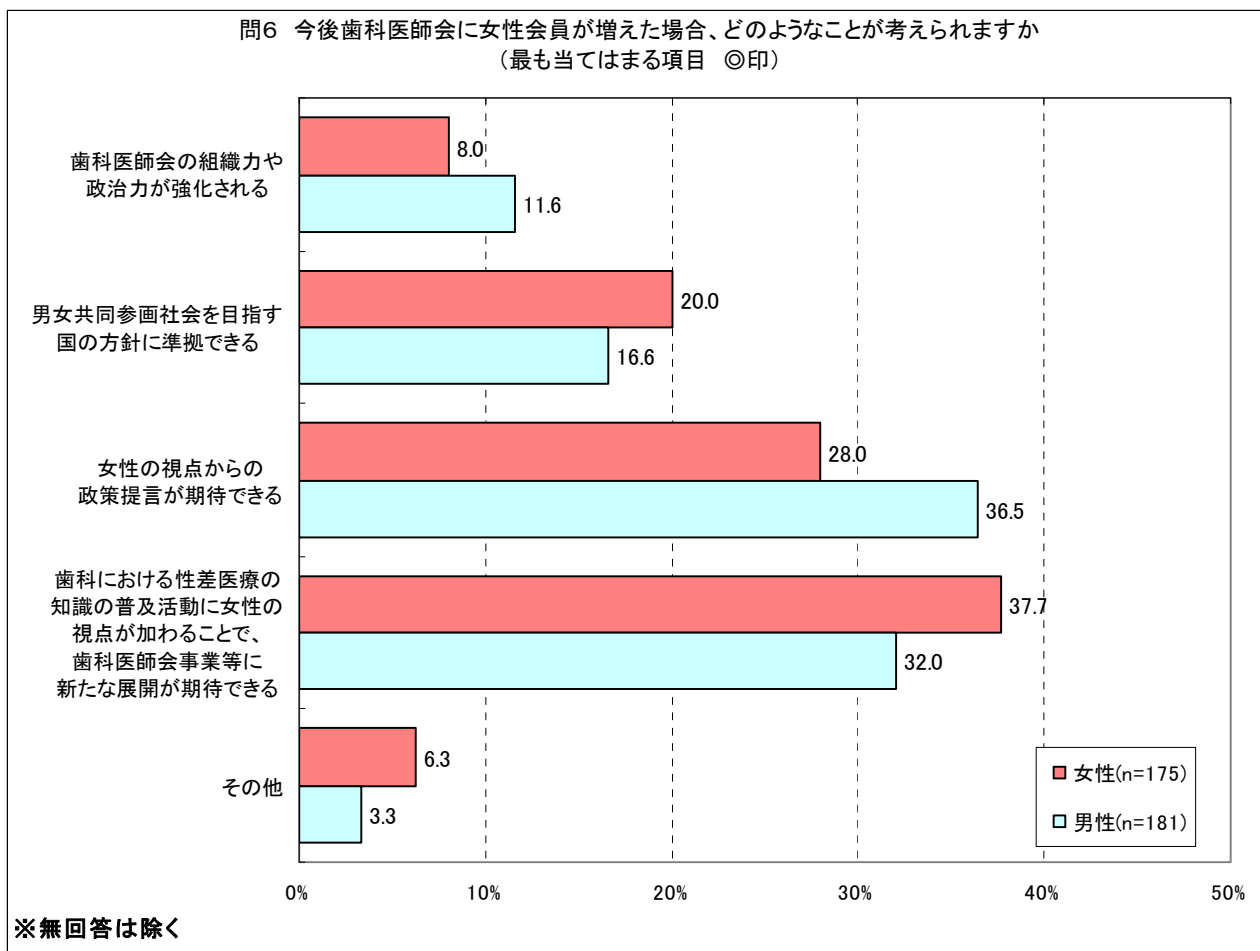
今後の歯科医師会における女性会員の割合について、「増えると思う」43.5%と「どちらかといえば増えると思う」39.9%を合わせると、回答者の8割以上が増えると考えている。

② 歯科医師会における女性会員の必要性



歯科医師会にとって女性会員が増えることが必要との考えについて、女性、男性とも「そう思う」、次いで「どちらかといえばそう思う」が上位となり、回答者の8割近くが歯科医師会にとって女性会員が増えることが必要なことだと考えていることが窺える。

③女性会員が増加した場合の期待

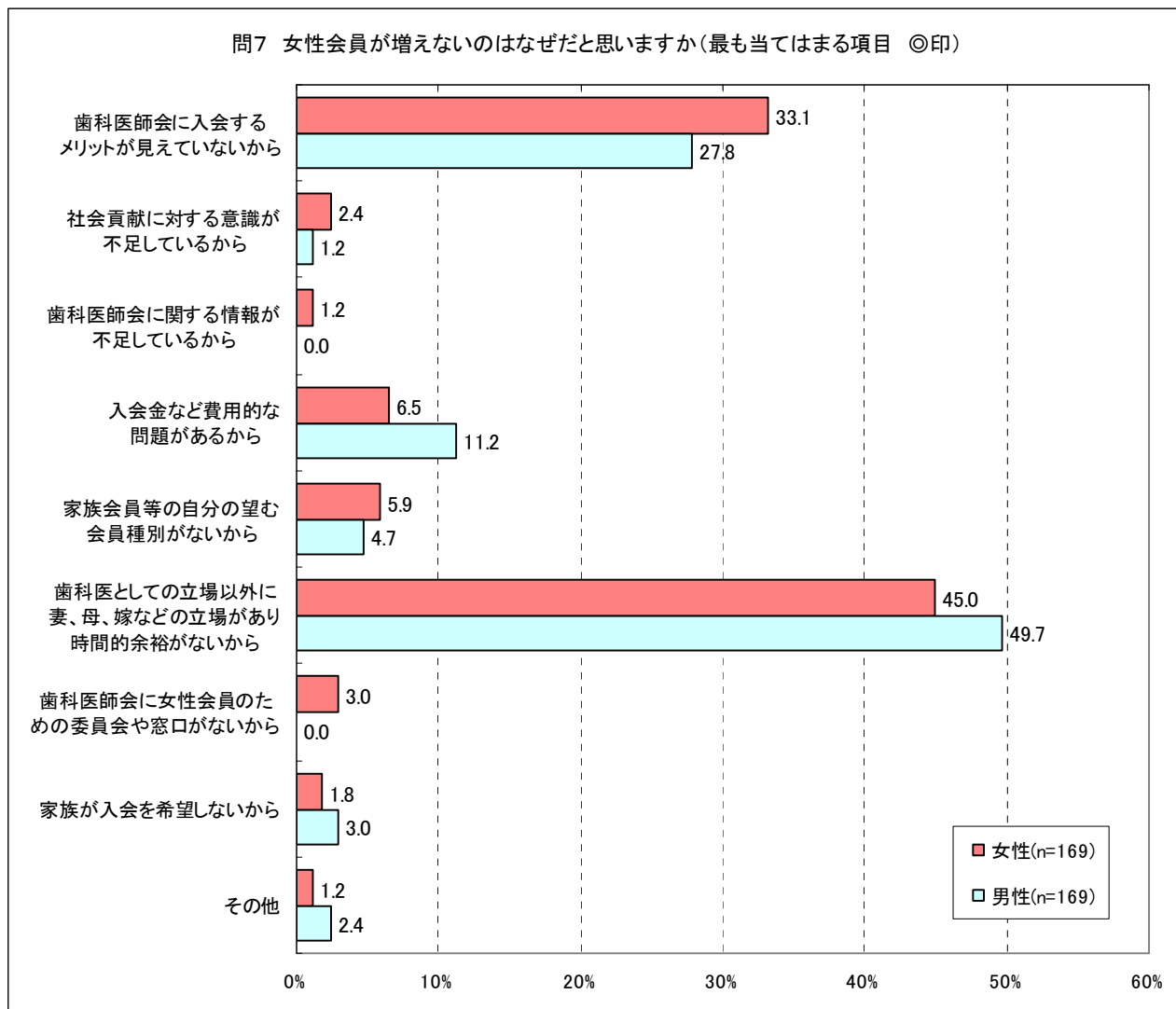


※性差医療：内閣府の男女共同参画基本計画（第2次）には、男女の性差に応じた的確な医療の推進として、医療関係者及び国民に男女の性差医療についての知識の普及を図ることが挙げられている。

女性歯科医師の視点が加わることで期待することについて、女性は「歯科における性差医療の知識の普及活動に女性の視点が加わることで、歯科医師会事業の新たな展開に期待できる」、男性は「女性の視点からの政策提言に期待できる」が上位となった。なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問6 今後歯科医師会に女性会員が増えた場合、どのようなことが考えられますか【その他記載内容】
40歳未満	女性	個人的には歯科医師であることに男性、女性と区別すべきことではないと考えます
40歳未満	女性	女性に対する偏見が少なくなる
40歳未満	女性	女性の社会進出により家庭が犠牲になる可能性もある
40歳未満	女性	役職になる人柄の減少
40歳代	女性	1. の逆で、組織力や政治力が弱まると思います（※「1.」は問6回答の選択肢番号）
40歳代	女性	大きな変化は無いように思います（2. 3. 4. に当てはまる事はあっても…）（※「2. 3. 4.」は問6回答の選択肢番号）
40歳代	女性	組織力が低下する。まとまりが悪くなる
40歳代	女性	何も変わらない
50歳代	女性	1～4. はどちらかといえば外部に対しての項目ですが、内部的には会員の意識の変化が期待できると思います（※「1～4.」は問6回答の選択肢番号）
50歳代	女性	歯科における性差医療の知識の普及活動だけでなく、視点が変わること、歯科医師会の変革が期待できる
50歳代	女性	女性が増えて弱体化は困る。男女差別にかかわらず組織力、政治力ある人物が求められる
50歳代	女性	女性にも組織の中で責任のある活動をしてほしい
50歳代	女性	無駄な事業が少しは減少する
60歳以上	女性	現状のままでは変わらない
60歳以上	女性	女性会員が増えたら変化するかどうかを考える事自体、共同参画平等とは発想が異なると思う
40歳未満	男性	組織力の変化
40歳未満	男性	リベラルな考え方が強まる
40歳代	男性	基本的に男女共同参画基本計画そのものに賛成しかねます
40歳代	男性	組織力が弱体化する
50歳代	男性	組織力、求心力の低下
60歳以上	男性	開業歯科医院数の増加がおさえられる
60歳以上	男性	思考の偏りが減る

④女性会員が増えない要因

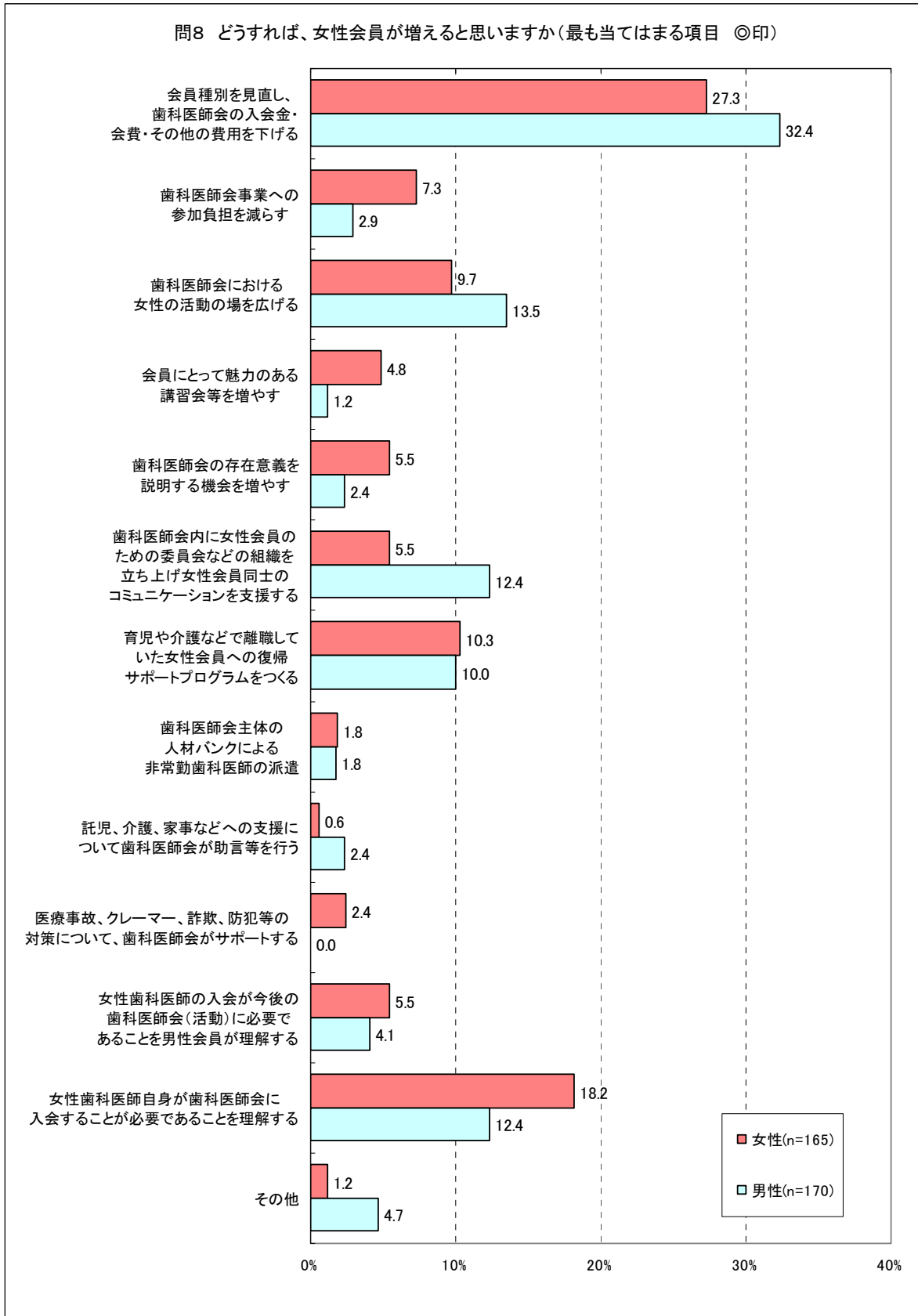


女性会員が増えない要因について、女性、男性とも「歯科医としての立場以外に妻、母、嫁などの立場があり時間的余裕がないから」、次いで「歯科医師会に入会するメリットが見えていないから」が上位となった。

なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問7 女性会員が増えないのはなぜだと思いますか【その他記載内容】
40歳未満	女性	家庭があると男性と同等にいろいろな仕事役員をまかされるのは家庭や子供が犠牲になってしまい、避けたいと思うから増えないのでは？
40歳未満	女性	地域性もあるかもしれませんが男性の大学同門の縦・横の繋がりが強く入会しづらい。入会しても億劫
40歳未満	女性	夫婦、親子である場合、勉強会は院長のスタッフとして同行できることが殆どであり、特に入会する必要性が取り急ぎ感じられないと思います
40歳未満	女性	両親や兄弟や夫などが入会していれば必要な情報は入るから
40歳代	女性	開業医でないと入金できない(資金などから)
40歳代	女性	家庭に入った女性は、なかなか会員になりにくい。勤務医の女性医も会員にならない
40歳代	女性	歯科医師会の仕事を男性と同様にこなすのは大変ですから…
40歳代	女性	夫婦のどちらかが入会していれば十分と考えられている
50歳代	女性	B会員がほとんどと思いますが、その会費が経費として認められないから
50歳代	女性	夫や父が歯科医師の場合やはり自分を第2位からあとに考えてしまう
50歳代	女性	出産・育児・介護etcで休業している間、休会という制度があってもいいと思います
50歳代	女性	夫婦で歯科医師の場合、2人で診療する程の患者数がない
50歳代	女性	マイナスポイントがないから
40歳未満	男性	独立開業する女性がまだ少ないのでは…
40歳未満	男性	複数歯科医がいる医院では、1人入会していれば情報入手可能だから
40歳代	男性	開業医ではないから勤務医や御主人が歯科開業医の場合、入会しなくてもかまわないから
40歳代	男性	歯科医師会が古からの「男社会」だから
40歳代	男性	配偶者が入会していれば情報は入るので入会を不要と考えるのでは
60歳以上	男性	開業されている方が少ない
60歳以上	男性	歯科医師としての進む道が解らず意識が浅い

⑤女性未入会者対策

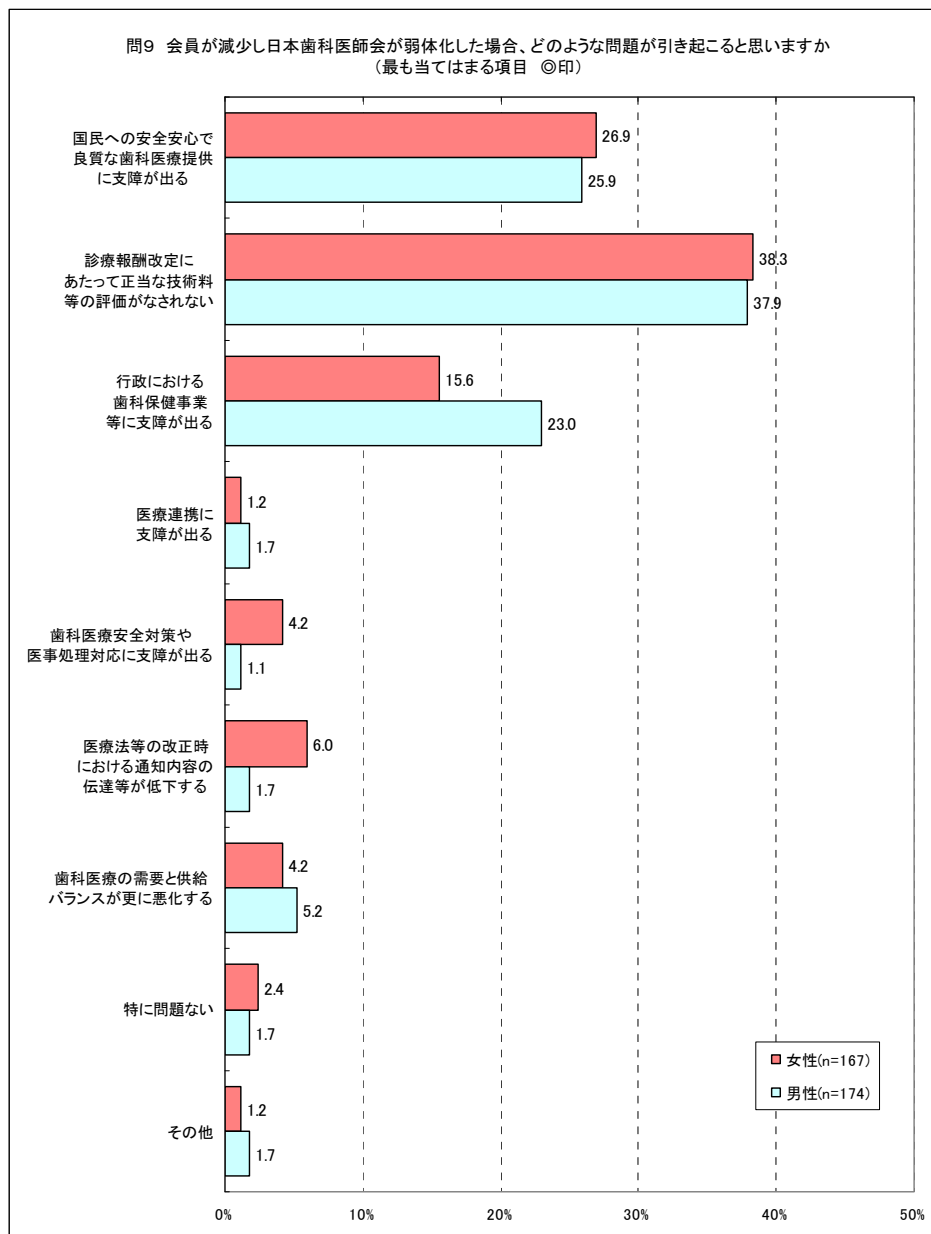


どうすれば女性会員が増えるかとの対策について、女性、男性とも「会員種別を見直し、歯科医師会の入会金・会費・その他の費用を下げる」、次いで女性は「女性歯科医師（会員でない女性歯科医師も含む）自身が歯科医師会に入会することが必要であることを理解する」が、男性は「歯科

医師会における女性の活動の場を広げる」が、それぞれ上位となった。なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問8 どうすれば、女性会員が増えると思いますか【その他記載内容】
40歳未満	女性	管理開設者である女性会員が例えば出産などする時に何らかのサポートがうけられると良いと思います(exその間の代診の先生が8. の非常勤の派遣などできてもらえるetc)
40歳未満	女性	参加しなければならない事業が多いと、家庭をもつ女性には歯科医師会に入り、その分の仕事をするは無理である
40歳未満	女性	男性だからとか女性だからとか区別しない
40歳未満	女性	妊娠、出産中の医院のサポートをしてもらえる。代診の紹介・派遣など
50歳代	女性	6. 7. 8. は有効とは思えるが、まずは女性の意識向上が達成、必要かと思う (※「6. 7. 8. 」は問8回答の選択肢番号)
50歳代	女性	会の仕事に力が発揮できるよう、家庭での夫などの意識改革
40歳未満	男性	勤務医も簡単に入会できるようなシステムにする。入会金なども含めて見直す
40歳未満	男性	講習会において小さなお子さんの保育の場を設ける。そしてそれをアピールする
40歳未満	男性	歯科医師会に入らなくても開業できる、維持できる限り増えないと思う。歯科医師会の力自体が弱すぎる
40歳未満	男性	卒後に知るのではなく、大学で学生として在学している時から歯科医師会の活動内容や大切さを知ってもらう
40歳未満	男性	大学卒業と同時に、又は開業と同時に入会しなければならないシステム作りが必要と思う
40歳代	男性	国の子育て支援
40歳代	男性	卒後研修医時代から歯科医師会に入会できるシステムを作る
50歳代	男性	会員としてのメリットが明確にあること。非会員との差別化
50歳代	男性	歯科医師会入会のメリットを作り、説明する
60歳以上	男性	意識の問題→自分自身が歯科医師である事

⑥日本歯科医師会が弱体化した場合に引き起こる問題

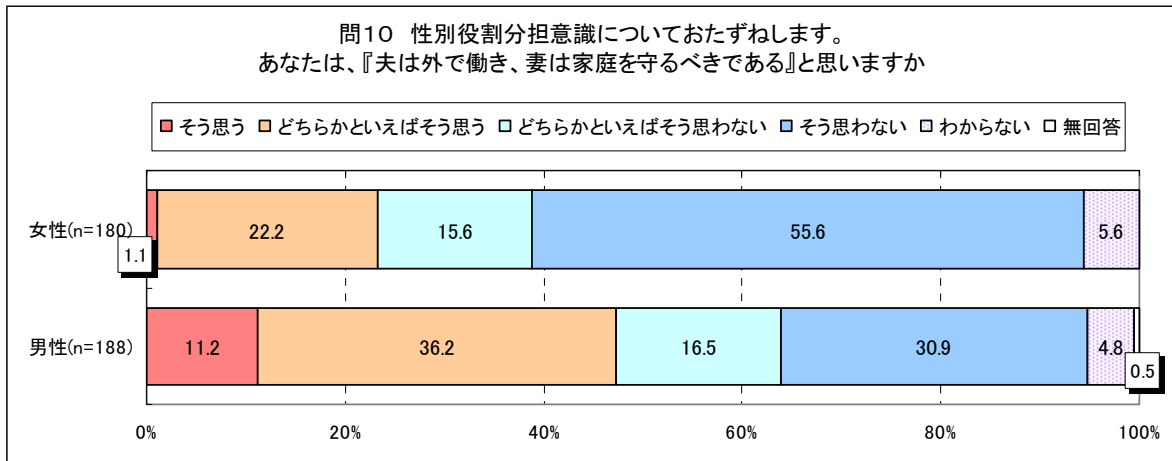


日本歯科医師会が弱体化した場合に引き起こる問題について、女性、男性とも「診療報酬改定にあたって正当な技術料等の評価がなされない」、次いで「国民への安全安心で良質な歯科医療提供に支障が出る」が上位となった。なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問9 会員が減少し日本歯科医師会が弱体化した場合、どのような問題が引き起こると思いますか【その他記載内容】
40歳未満	女性	他職種から今以上に軽んじられるようになる
40歳代	女性	秩序がない無法地帯となり、皆がそれぞれやりたい放題になると思う。それは国民へはねかえらると思う
50歳代	女性	医師との格差がさらに広がり社会的立場の低下を招く
50歳代	女性	会員数の減少はとりもなおさず、政治力の弱体化につながる
50歳代	女性	社会における歯科医師の地位(?)みたいなものが低下する
50歳代	女性	もともと弱体で行政に対して何の影響力もないので、一般会員の苦しい現状は変わらない
40歳未満	男性	歯科医師の社会的地位が確実に下がる
40歳未満	男性	淘汰される歯科医院が増える
40歳代	男性	行政権力に抗する発言力、政治力が低下する
50歳代	男性	歯科医学の知識技術の低下
50歳代	男性	歯科医師としての社会貢献をしない者が増加し、利益だけを求める歯科医師が増加する
50歳代	男性	市場原理主義がさらに加速する(医療現場で)
50歳代	男性	商業主義が強くなり歯科医療従事者のモラルが低下する
50歳代	男性	明確に勝ち組・負け組の差がハッキリしてしまふ。非会員におけるモラルの低下が見えて来て、歯科医師としての倫理観が失われる
60歳以上	男性	行政の対応が悪化する
60歳以上	男性	地方歯科医師会の存在がより重要となってくる(2.に関しては除く)(※「2.」は問9回答の選択肢番号)
60歳以上	男性	トップに立つ者の考え方ひとつ

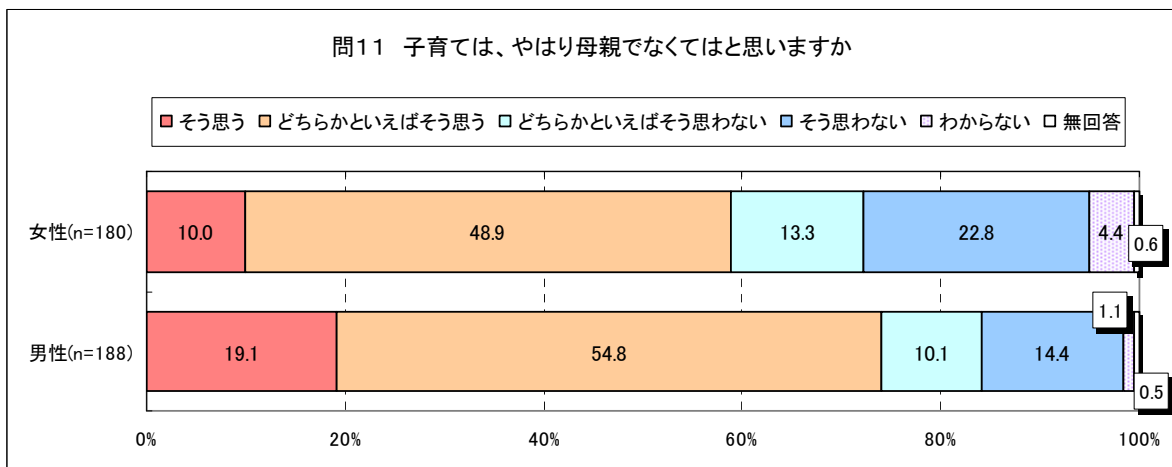
3. 性別役割分担意識

① 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」との考えについて



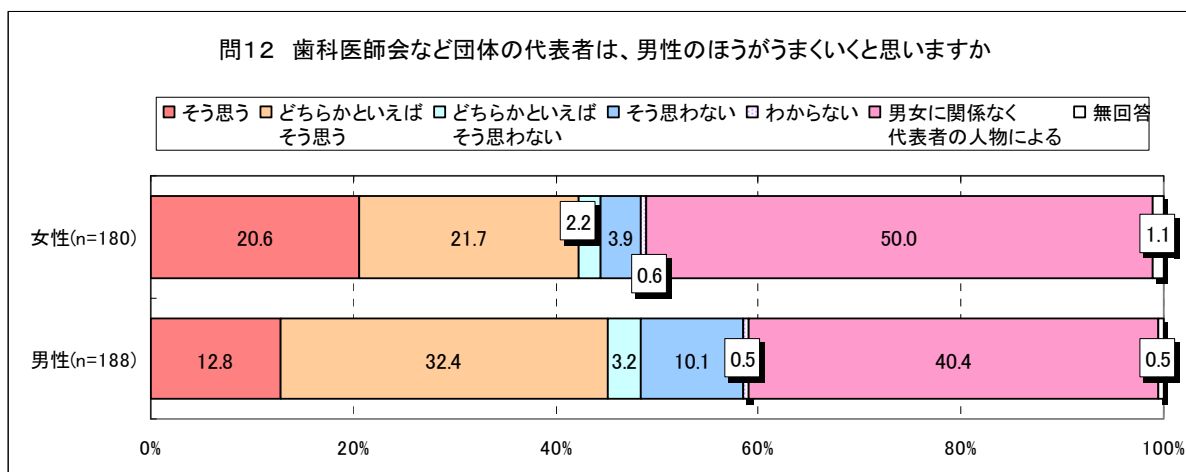
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」との考えについて、女性は約7割が「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」としたが、男性においては「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定する意見（47.4%）と、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と否定する意見（47.4%）が同率となり、男性においてはその考えが二極化した。

② 「子育ては、やはり母親でなくては」との考えについて



「子育てはやはり母親でなくては」との考えについて、女性は約6割が、男性は約7割が「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」との意見であった。

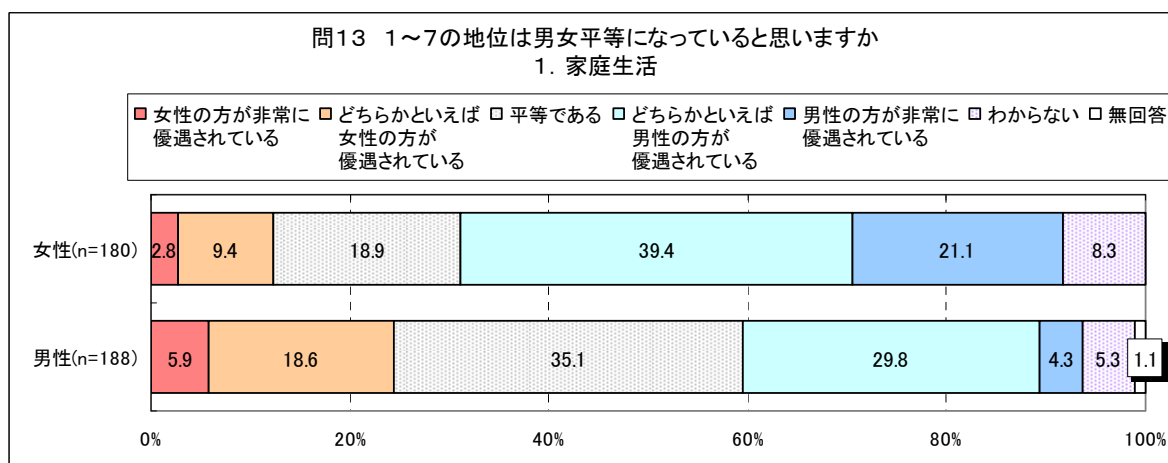
③ 「歯科医師会など団体の代表者は、男性のほうがうまくいく」との考えについて



「歯科医師会など団体の代表者は男性のほうがうまくいく」との考えについて、女性、男性とも「男女に関係なく代表者の人物による」、次いで「どちらかといえばそう思う」が上位となった。

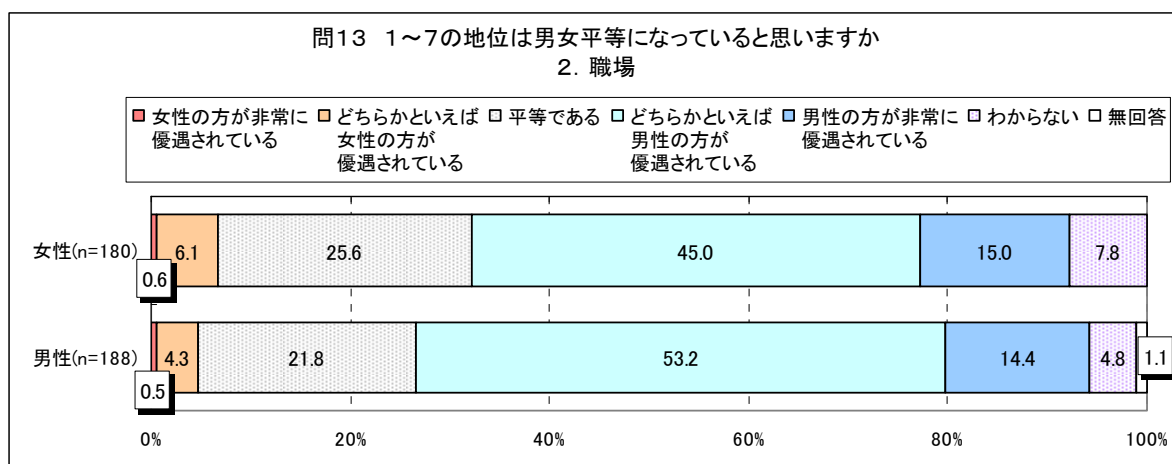
4. 地位の男女平等性

① 「家庭生活」における男女平等性



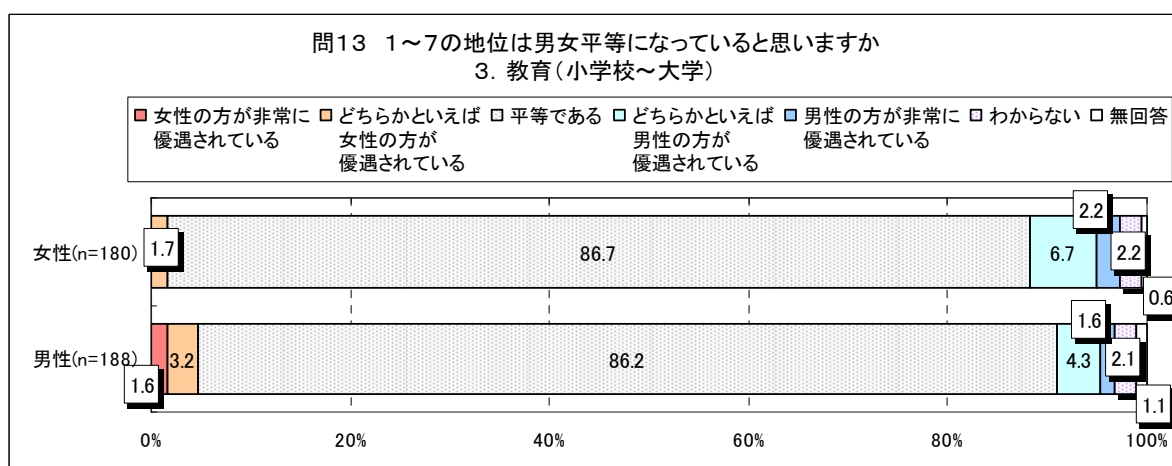
家庭生活について、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」39.4%が上位となった。男性は「平等である」35.1%、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」29.8%が上位となった。その結果、女性の約6割が、「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答したのに対し、男性では同回答は約3割となり、男性と女性の意識に差がみられた。

②「職場」における男女平等性



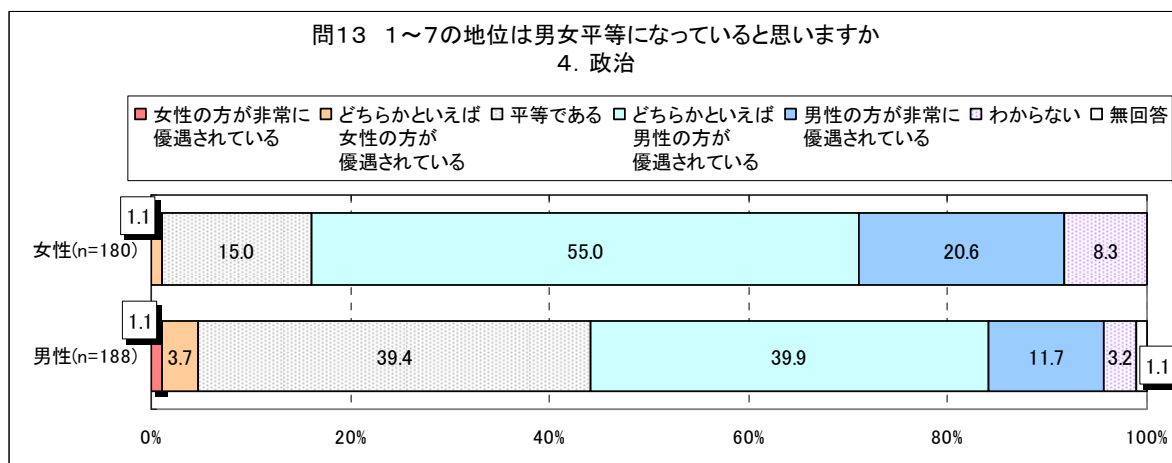
職場について、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と女性の60%、男性の67.6%が感じており、女性と男性の意識は概ね一致した。

③「教育」における男女平等性



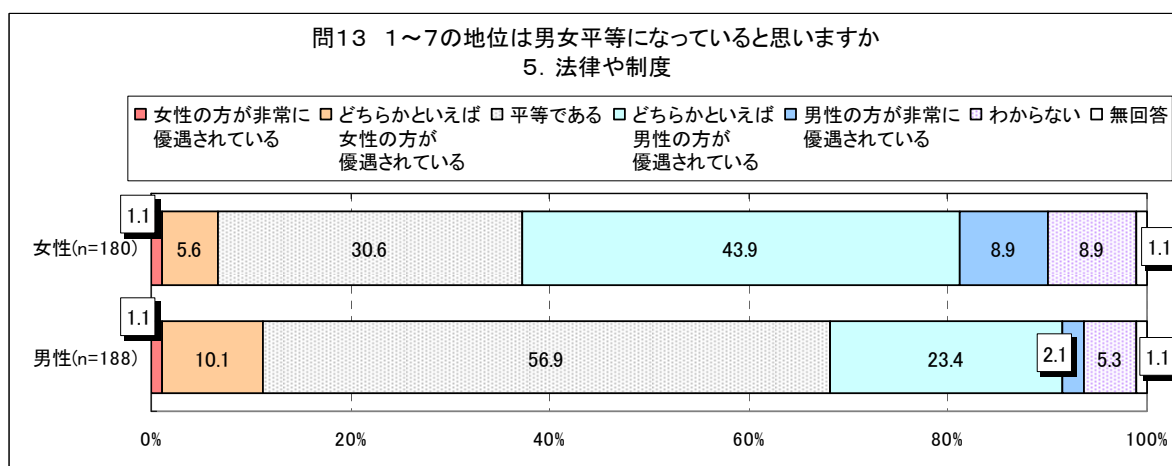
教育について、女性、男性とも「平等である」が上位となり、女性、男性ともにほぼ同様の意識が見られた。

④ 「政治」における男女平等性



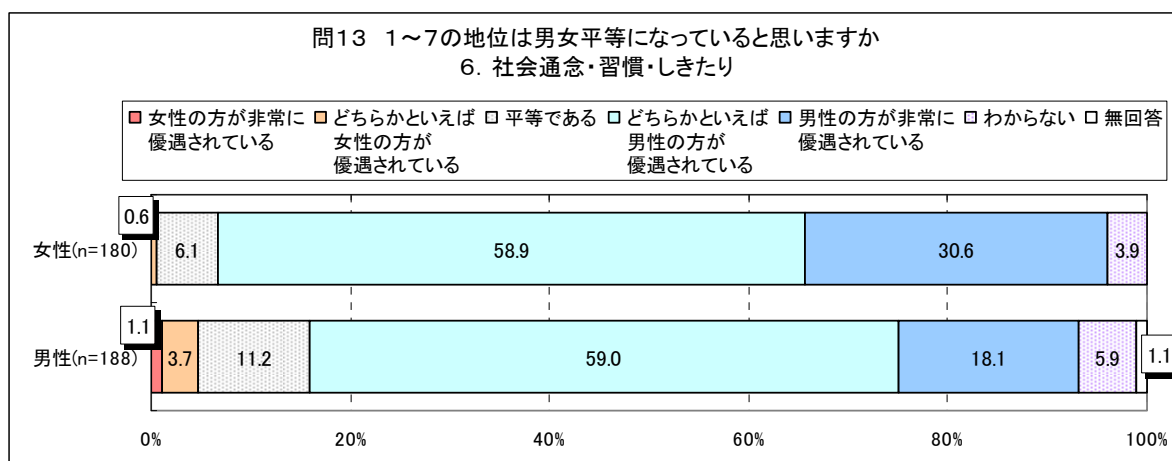
政治について、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」55.0%が上位となった。男性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」39.9%、次いで「平等である」39.4%が上位となった。その結果、「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とした女性が7割以上であるのに対し、男性では約5割と、女性と男性の意識の差がみられた。

⑤ 「法律や制度」における男女平等性



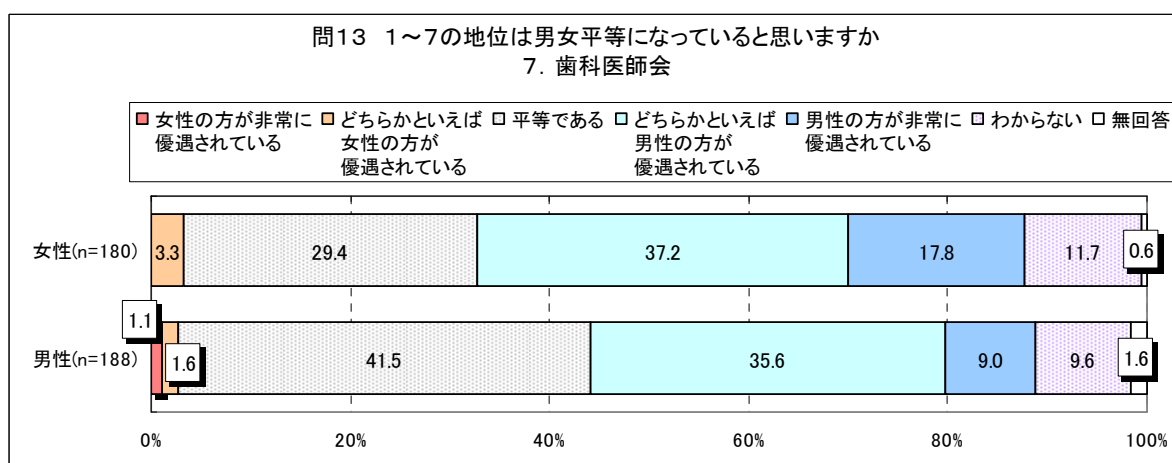
法律や制度について、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」43.9%が上位となった。男性は「平等である」56.9%が上位となった。「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が非常に優遇されている」とした女性が5割以上に対し、男性では2割5分と非常に低い結果となり、女性と男性の意識に大きな差がみられた。

⑥ 「社会通念・習慣・しきたり」における男女平等性



社会通念・習慣・しきたりについて、女性、男性とも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が上位となった。

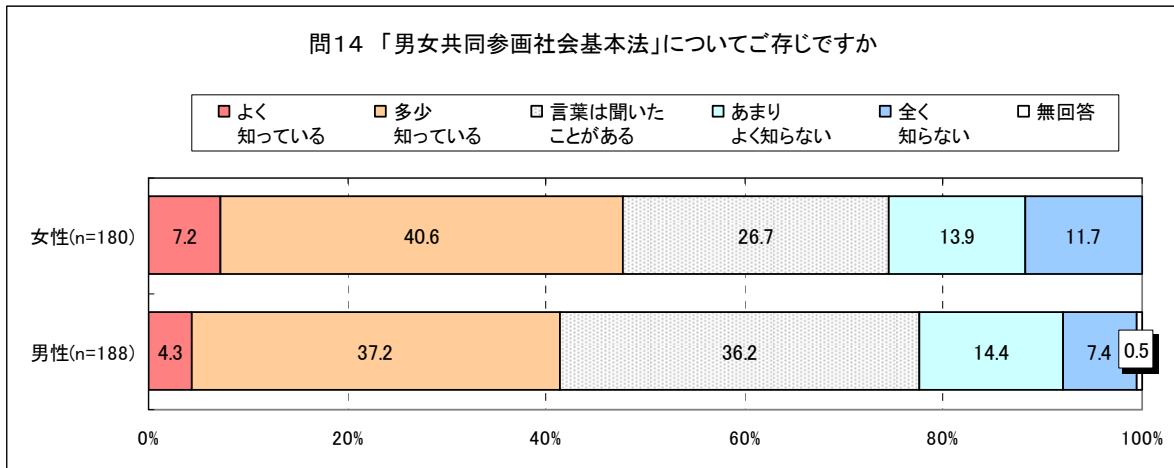
⑦ 「歯科医師会」における男女平等性



歯科医師会における男女平等性について、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」37.2%が上位となった。男性は「平等である」41.5%、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」35.6%が上位となった。他の項目に比べ男性と女性の意識の差は少ないといえるが、「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が非常に優遇されている」と考える女性が5割を超えたのに対し、男性では5割を下回った。

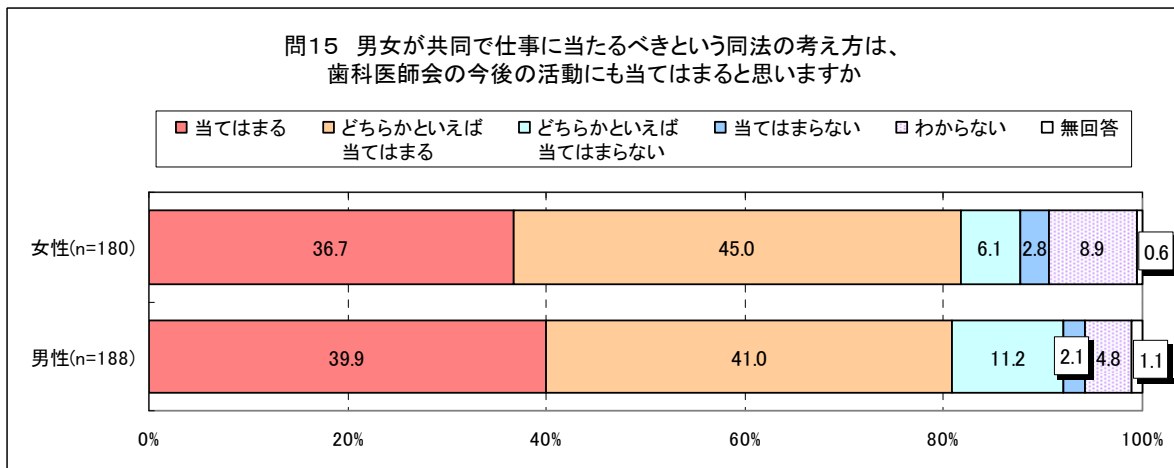
5. 男女共同参画社会基本法

①男女共同参画社会基本法の認知度



男女共同参画社会基本法について、女性、男性とも「多少知っている」、次いで「言葉は聞いたことがある」が上位となった。

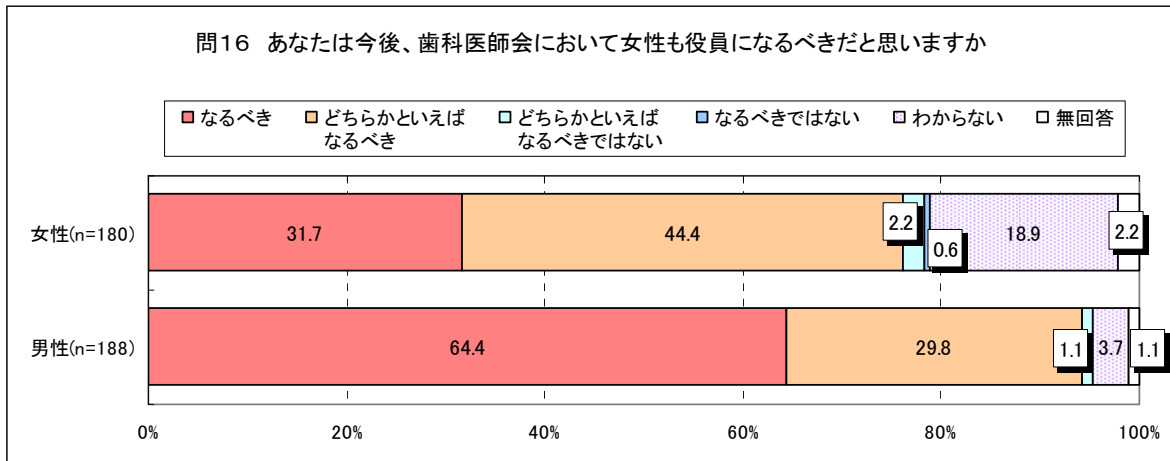
②「男女共同参画社会基本法の考え方」と「歯科医師会の活動」



男女共同参画社会基本法の考え方は歯科医師会の今後の活動に当てはまるかについて、女性、男性とも「どちらかといえば当てはまる」、次いで「当てはまる」が上位となった。

6. 女性会員の役員登用および委員会参画

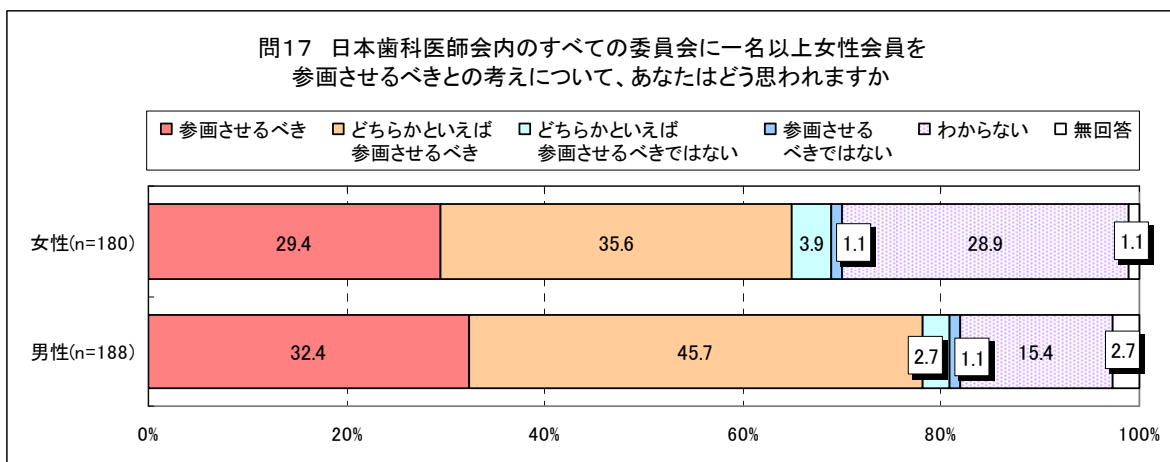
① 歯科医師会役員への女性登用



歯科医師会において女性も役員になるべきとの考えについて、男性は「なるべき」64.4%、「どちらかといえばなるべき」29.8%が上位となった。これらを合すると男性回答者の9割以上が、女性も役員になるべきと考えているのに対し、女性では7割以上がなるべきと考えている。

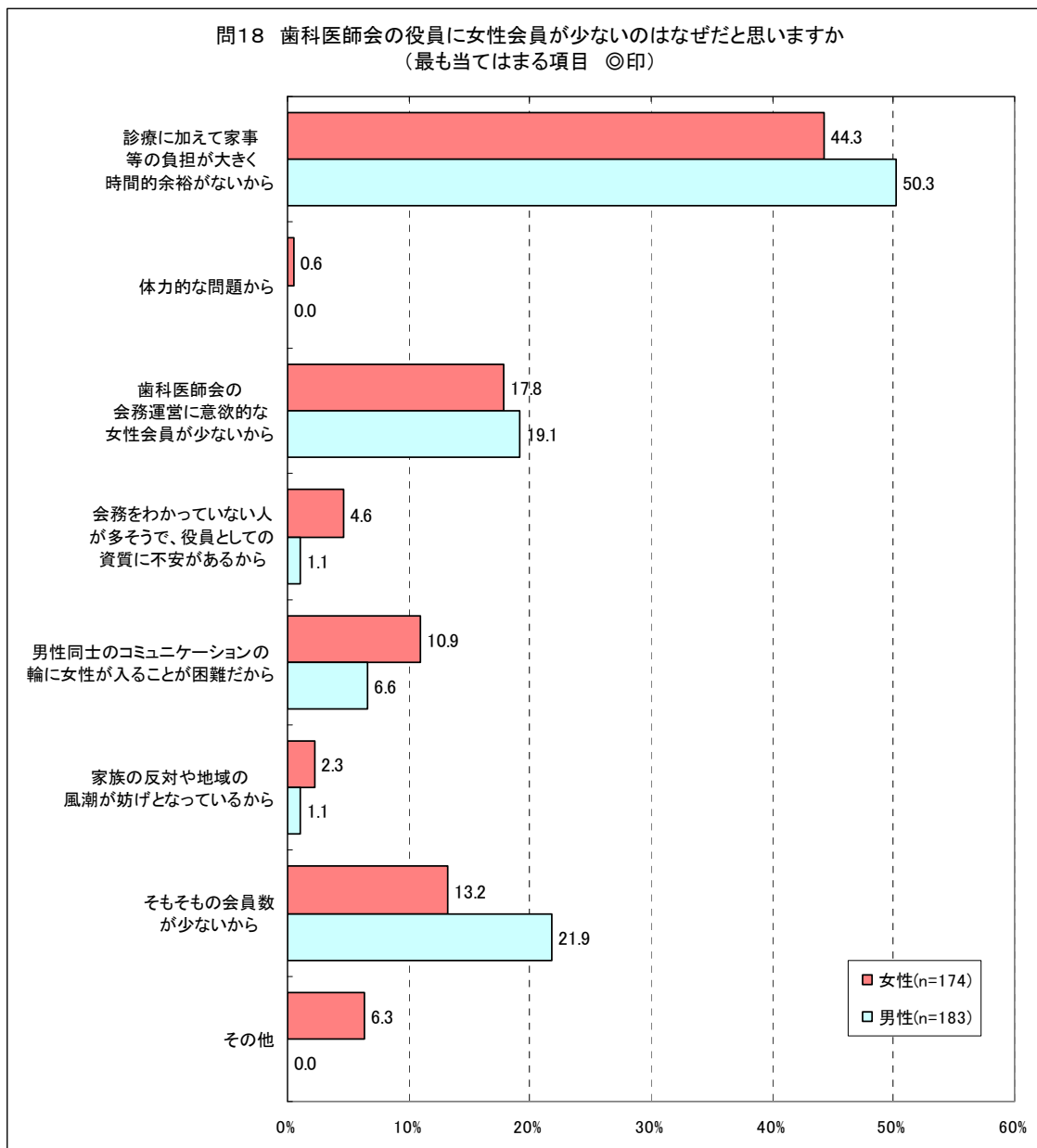
これにより、歯科医師会役員への女性登用を男性がより希望していることが見受けられる。

② 日本歯科医師会における委員会への女性参画



日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて、女性は「どちらかといえば参画させるべき」35.6%、「参画させるべき」29.4%で、6割強が女性会員を全ての委員会に参画させるべきと考えている。一方、男性は「どちらかといえば参画させるべき」45.7%、「参画させるべき」32.4%で、これらを合わせると男性回答者の8割近くが、女性会員を全ての委員会に参画させるべきと考えており、女性の参画を男性がより強く望んでいることが見受けられる。

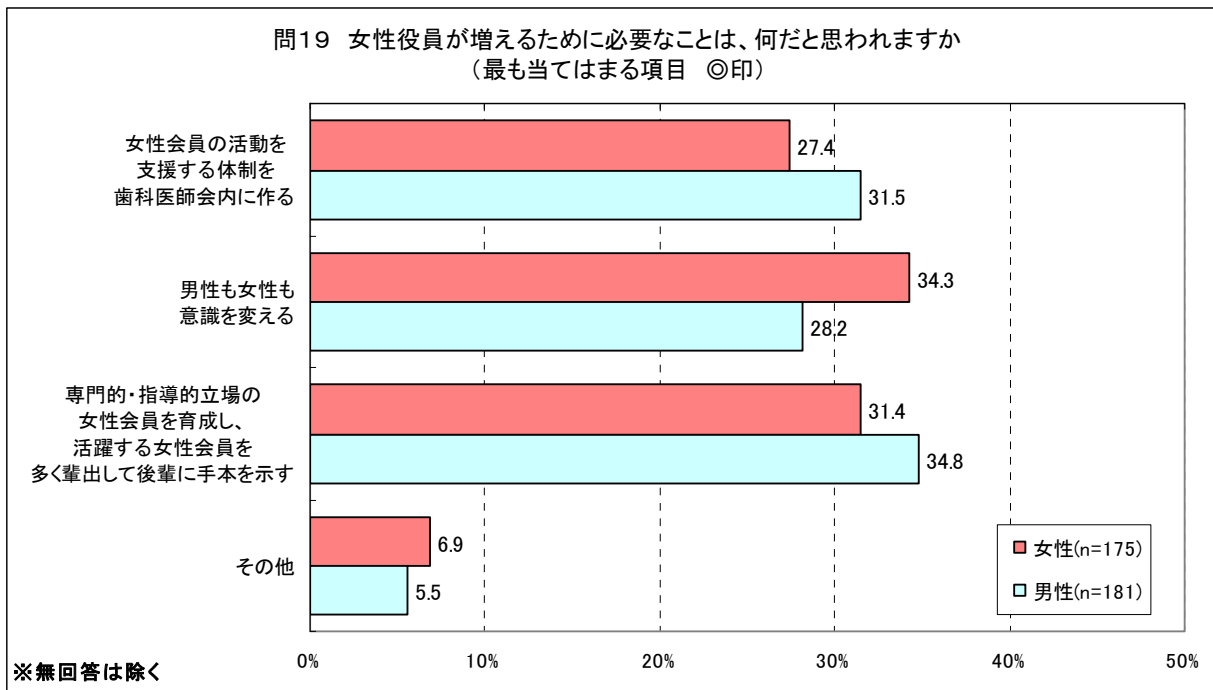
③ 歯科医師会役員への女性登用が少ない理由



歯科医師会の役員に女性会員が少ない理由について、女性、男性とも「診療に加えて家事等の負担が大きく時間的余裕がないから」が上位となった。なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問18 歯科医師会の役員に女性会員が少ないのはなぜだと思いますか【その他記載内容】
40歳未満	女性	女性でも意欲のある人、どちらかといえば遠慮したい人、いろんな人がいるので男性でも女性でも意欲がある人がやった方がいいと思う
40歳未満	女性	女性役員を嫌う男性がいるから。男性、女性の考え方の違いが大きい
40歳未満	女性	男性がやるべきものという考えが一般化しているから
40歳未満	女性	単なる男尊女卑意識でしょ
40歳代	女性	女性だから…と女性側も身構えて訴えるべきではない。出来る事をするべき
40歳代	女性	男性会員(家族以外)の理解少ない
40歳代	女性	能力があるにも関わらず、入会していない女性歯科医師がいる
40歳代	女性	メリットが全くない
40歳代	女性	男性社会であるから
40歳代	女性	日本の社会が男性社会だから
50歳代	女性	男性会員の意識に問題あり
50歳代	女性	男性中心に選考されている。あまりにも男性中心社会
50歳代	女性	根強い男尊女卑の思想があるから
60歳以上	女性	男性歯科医の意識が封建社会をぬききれていない
60歳以上	女性	役員に選ばれない。チャンスがないから(都市歯会で選ばれないから県歯会の役員のコツもない)
50歳代	男性	女性会員の能力の過小評価
60歳以上	男性	男性役員が反対するから

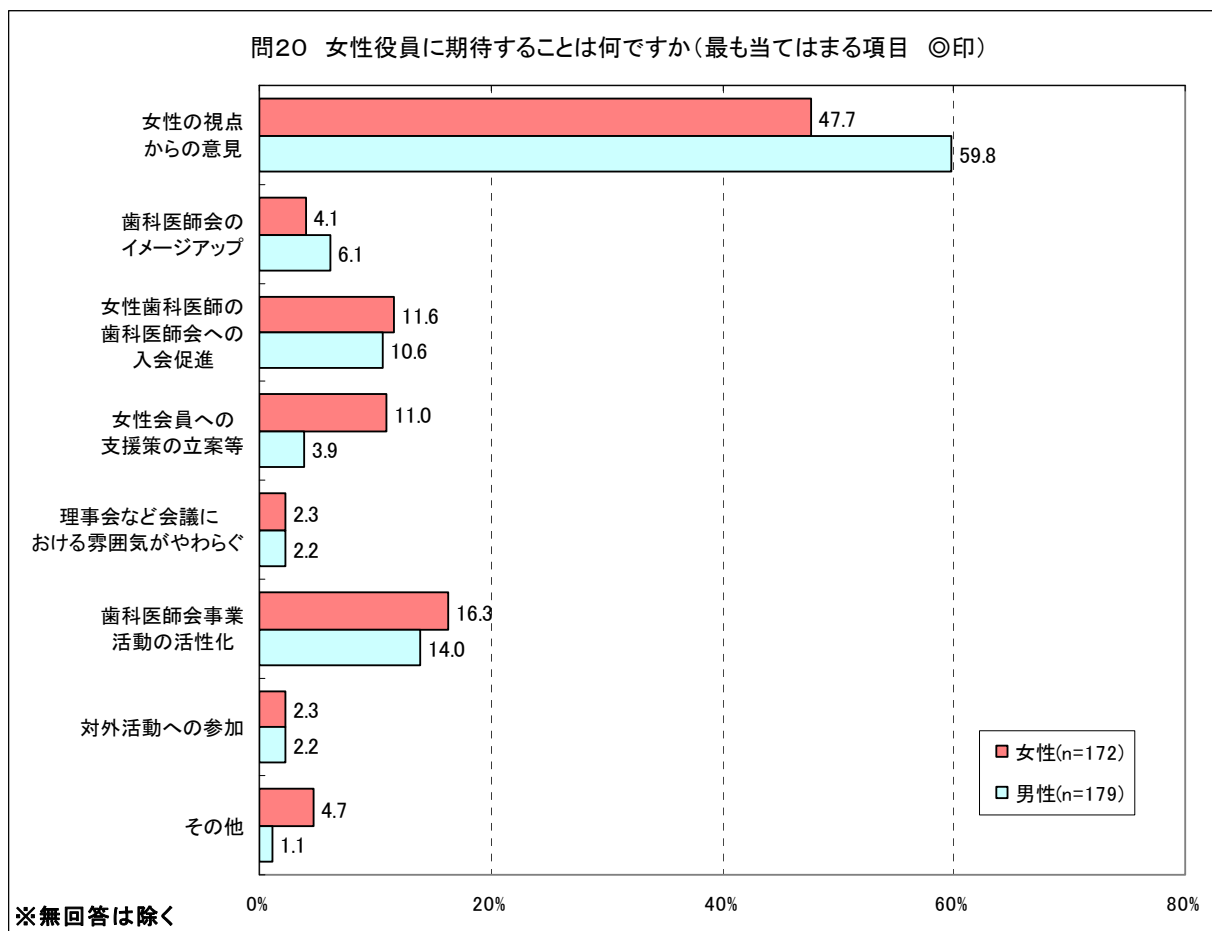
④女性役員を増やすための方策



女性役員が増えるために必要なことは、「女性会員の活動を支援する体制を歯科医師会内に作る」、「男性も女性も意識を変える」、「専門的・指導的立場の女性会員を育成し、活躍する女性会員を多く輩出して後輩に手本を示す」が女性、男性ともほぼ同等の回答となった。なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問19 女性役員が増えるために必要なことは、何だと思われますか 【その他記載内容】
40歳未満	女性	子供や家庭がある場合、男性と同等に活動するのは無理があると思うため、役員は免除した方がよい
40歳未満	女性	歯科医師会は男性社会というイメージがとても強いのでそのへんが変われば増えるかもしれませんが、意欲のある女性会員が増えなければ無理だと思います(例えば、自分がこの地域をかえようとか歯科をこういう風によくしていきたいという)
40歳未満	女性	女性会員数を増やす
40歳未満	女性	女性会員にも積極的に仕事(役職)を与える
40歳代	女性	学校単位での役員選出をやめる
40歳代	女性	金額(役員にしないのなら)を減らすべき
40歳代	女性	女医会は医師会も薬剤師会もあり、県単位で活動がありうらやましい。歯科医師会だけが女医会がないので、女性同士のコミュニケーションの場をつくり、その輪を広げていくべきだと思う
40歳代	女性	女性会員が増えるように各県歯での努力も必要。女性会員に女性ならではの声を拾いやすい環境整備も必要。実際に子育ても介護もほとんどは女性が担っていることを考えればもっと現場に即した意見も沢山でるものと思われる
40歳代	女性	女性会員の増加
40歳代	女性	男女平等というのは、仕事量を平等にと考える一部の男性会員がいるが、年代によっては仕事以外に子育て等が1番重要である世代もあることを理解しての平等という認識が必要。ただし、女性の中にもそういった歯科医師会の活動があっている方もいる
40歳代	女性	本人が必要性を自覚すること
40歳代	女性	無理に増やす必要はないと思う。忙しくてもやる気のある方は男女に関係なく時間を作ると思うので…
40歳代	女性	役員としての人間性が備わっていると思われれば、経験させるべき
50歳代	女性	会員数を増やす
50歳代	女性	絶対数が増加するのを待つ。女性比率40%の世代が役員適齢期になれば状況は変わっているでしょう。時間が必要と考えます
50歳代	女性	まず女性役員を作ること
60歳以上	女性	委員会の開催回数等の見直しを行い拘束時間を可能な限り少なくして貰う
60歳以上	女性	支部で女性会員を役員に何名以上選ぶとか決めてあればよいが(会則等で)そうでなければ無理。まず初めから選ばなければ何も始まらない
60歳以上	女性	女性会員の家族に歯科医師(会員)がいる場合にその方の意識を変えることが一番必要なことだと思います
60歳以上	女性	能力主義によるもので、数の増加にはこだわらない
40歳未満	男性	学生である時からの支援
40歳未満	男性	女性会員の増員
40歳未満	男性	女性自身が積極的に発言すること。そのためには1.も必要かもしれない
40歳代	男性	歯科医師会の会員になりやすいようにする。例えば、夫婦だと1人はいればいいという感じだが、家族に歯科医師として女性がいたら入りやすい会費とか環境を作っていくべき
40歳代	男性	男性女性にかわりなく、どちらについても魅力ある歯科医師会をつくるべき
50歳代	男性	安定した生活基盤が保たれる経済状況になる歯科環境をつくること。報酬を得ることができること
50歳代	男性	個人の問題もあり、歯科医師会としてあえて考えることか?
50歳代	男性	歯科医師会の意義を大学教育で教える
50歳代	男性	女性会員が増えれば必然的に役員も増えると思います
50歳代	男性	女性に限らず、歯科医師会の未入会の歯科医師が増えている。弁護士のように歯科医師会に入会しないと医療行為や、開業ができないようにすべきであると思う
60歳以上	男性	会員の増加がいきなり役員へとはならない!
60歳以上	男性	女性会員の入会促進につきるのでは
60歳以上	男性	女性が役員になりたいという意識をまず持つこと

⑤女性役員への期待

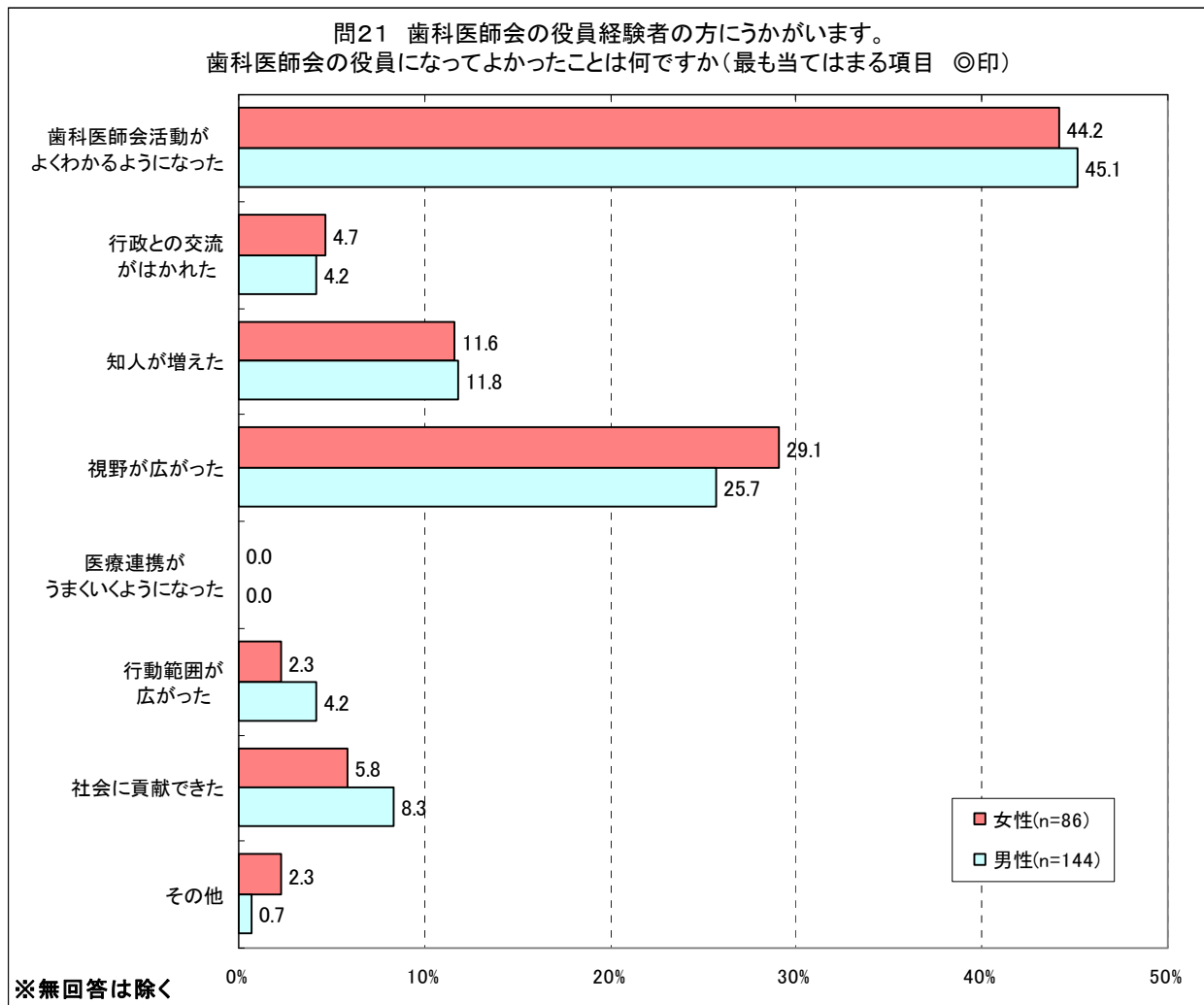


女性役員に期待することについて、女性、男性とも「女性の視点からの意見」、次いで「歯科医師会事業活動の活性化」を挙げた。なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問20 女性役員に期待することは何ですか【その他記載内容】
40歳代	女性	あまりかわらないと思う。女性はセクハラやいろいろな面もあるので
40歳代	女性	各地域の潜在女性歯科医師の
40歳代	女性	経費節約
40歳代	女性	女性だから「～」ということではなく一役員としての任務の遂行
40歳代	女性	男性並みの責任感
50歳代	女性	“女性だから”ということで、男性同士ではでは通らないことを通してもら(許してもら)“特別扱い”をされない活動できる人材
50歳代	女性	女性であることを「錦の御旗」にせず、歯科医師のライセンスを持つ、1人の人間として職務にあたること
50歳代	女性	マスコミ
50歳代	女性	役員に女性も男性もない。そもそも歯科医師という立場で男女の差を意識することがおかしい。女性会員が会員とのコミュニケーションの場を多くもち、男・女とわず、知り合いが増えればおのずと参加するだろうし、生活にゆとりがない時(代)は参加したくても参加できない。子供だけでなく、介護も入って
60歳以上	女性	期待されるのも辛いでしょうし、期待するの也可哀想です
60歳以上	女性	女性役員としてではなく、女性男性の垣根をこえて一役員として歯科の治療を医療と国に認めさせること！
60歳以上	女性	男性役員とは異なる視点で歯科医療を見直して貰う(例えば、訪問診療における家族の役割等)
40歳未満	男性	個人の能力
40歳代	男性	人に頼る姿勢を前面に出さない。論理的な発言
60歳以上	男性	女性であっても男性役員と同じと考える

7. 歯科医師会の役員経験

① 歯科医師会役員を経験して得られたこと



歯科医師会の役員になってよかったことについて、女性、男性とも「歯科医師会活動がよくわかるようになった」、次いで「視野が広がった」が上位となった。なお、「その他」の記載内容は次のとおり。

年齢	性別	問21 歯科医師会の役員経験者の方にうかがいます。歯科医師会の役員になってよかったことは何ですか【その他記載内容】
40歳代	女性	役員でなければわからない事が沢山あり、その都度色々な意味で経験と勉強になった
40歳代	女性	役員の先生方の苦労を理解し、少しでも自分も役に立てるように頑張ろうと思います！
40歳代	女性	全くない。やめたいくらいだ
50歳代	女性	理事会等に出席を重ねることによって役員の先生方の日々の診療以外の会務への御努力、苦労がわかり、男性の先生方の連携感に一抹のうらやましさを感ずつ、女性医師としてやはり責任感・使命感が不足している事に気づかされ学生時代には平等であったはずのスキルや社会性が男性は社会に出て成長していくのだとうらやましく思う事もありました。私は郡市会の中でお互いに男・女を越えた親しみを味わせてもらってありがたかったと思っております。女性会員ももっと社会性をみがき一人間として歯科医として世の中の人々に認めてもらえるよう甘えを捨てて生きる事も試練となるような生き方を出来る歯科医師として生きる方が大勢になれば良いと思っています。
50歳代	女性	私の願望ですが…。自分が役員をしてことで会員の先生方が「女性理事」の存在というものになれたこと。又、女性理事は別に特別なものではないと理解して下さったこと。2つの点でもしお役に立てたのであれば、本当にやってよかったと思います
60歳以上	女性	仕事の困難さや責任等については、実際にその任に就かない限り理解できなかったと思います。貴重な体験をさせて貰いました
40歳代	男性	自分自身の勉強になることを経験できた(いい人生経験となった)
50歳代	男性	一会員でいた時とは明確に知識は増し自分自身の財産になり、それを会員に役に立てる様にフィードバックしたい
50歳代	男性	会、会員への愛着が深まった
60歳以上	男性	日常臨床の立場だけでなく、異なる立場での社会貢献ができた

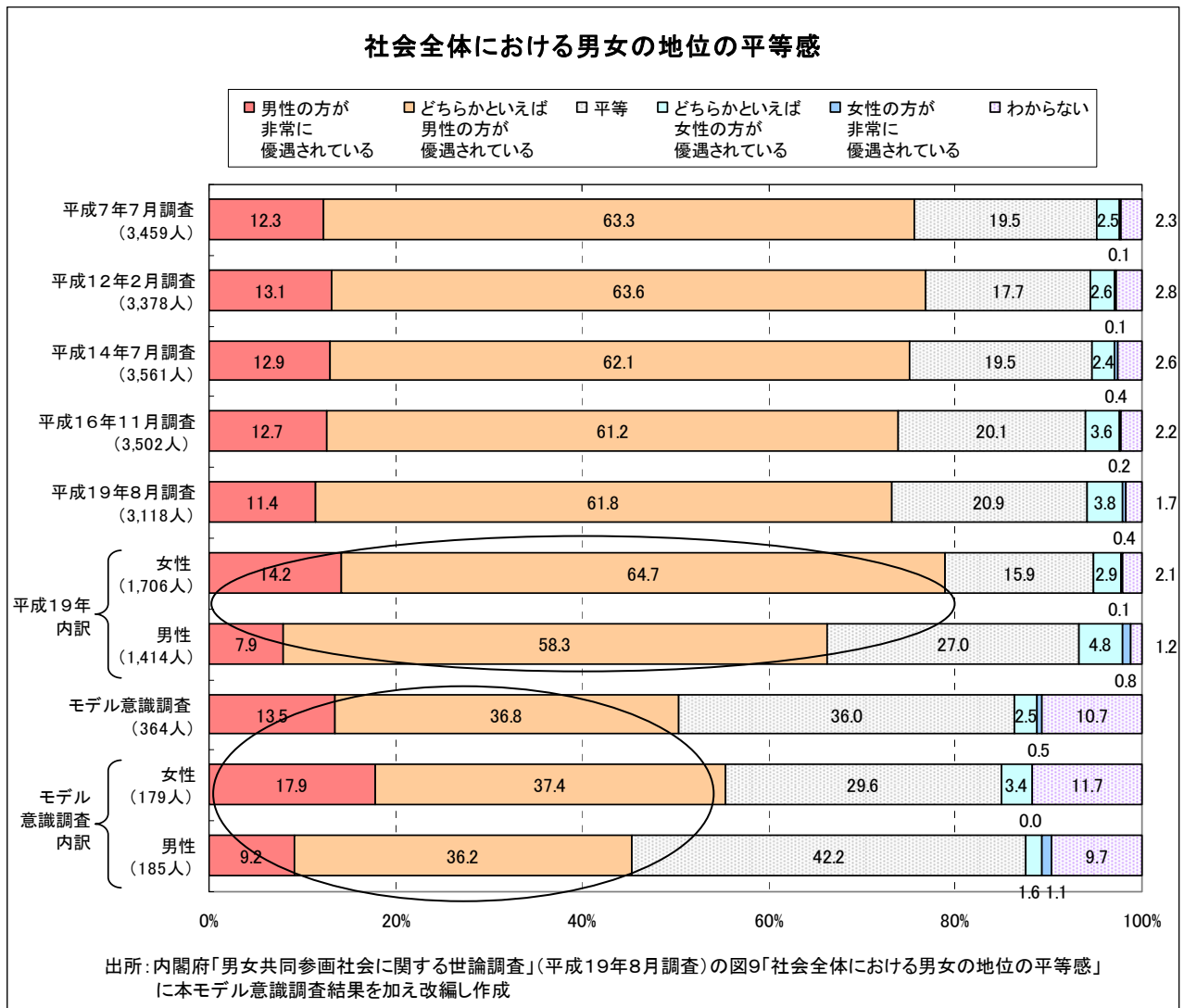
Ⅲ. 考 察

1. 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成19年8月調査）等と本モデル意識調査との比較

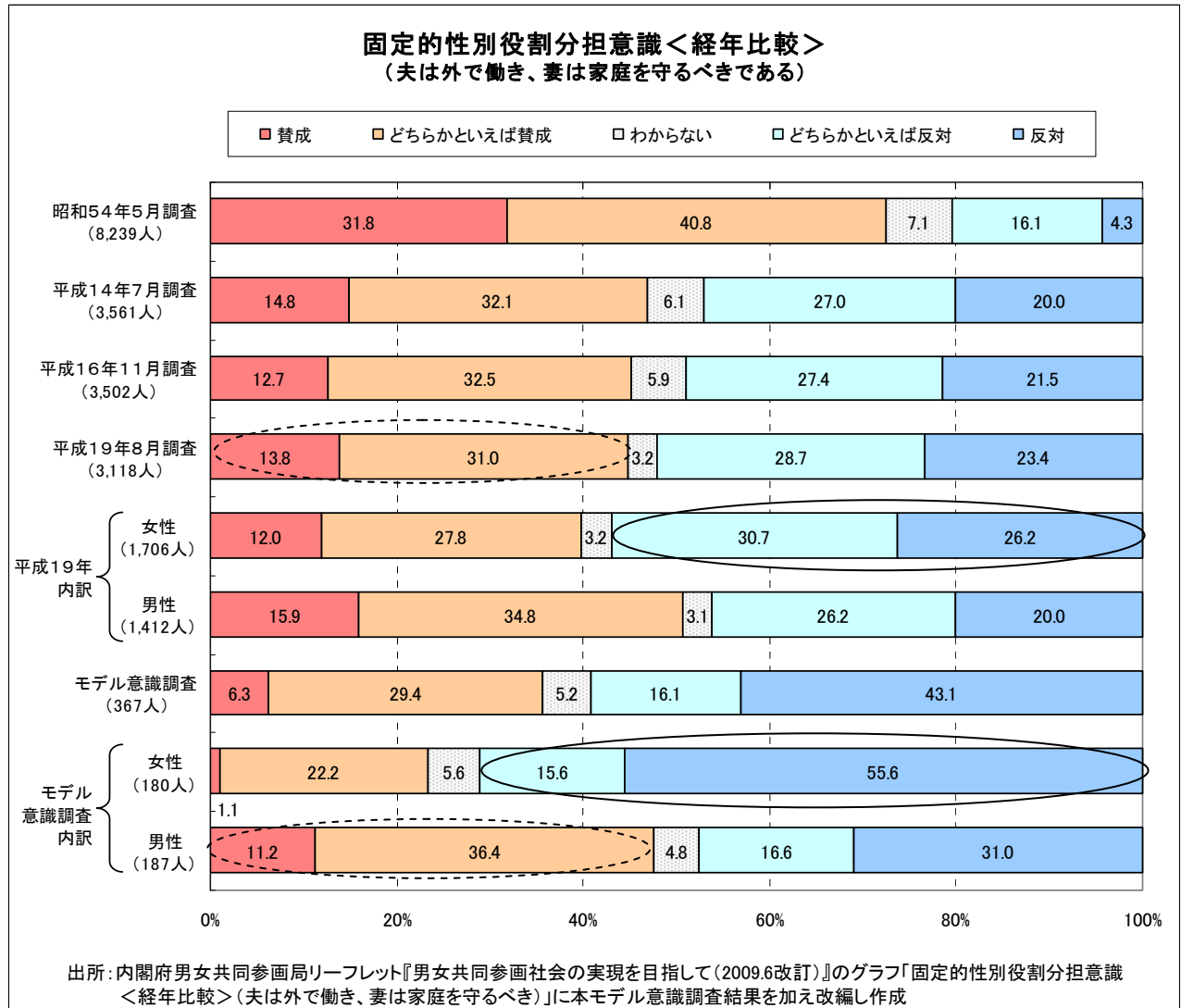
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成19年8月調査）によると、社会全体における男女の地位の平等感について、女性のうち8割近く、男性のうち6割以上が「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が非常に優遇されている」と回答し、全体的にみると7割以上が、「男性が優遇されている」と考えている。

前述の世論調査と比べ、本モデル意識調査結果「歯科医師会における男女の地位の平等感」（内閣府調査に合わせるため一部改編）では、女性の55.3%、男性の45.2%が同様に「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が非常に優遇されている」と回答しており、全体では約5割が、「男性が優遇されている」と考えている。

したがって世論調査に比べ、本モデル調査では「男性の方が優遇されている」との考えが2割程度低いことから、世論調査による平均的な日本人の意識に比べ、歯科医師の男女共同参画に対する意識は僅かながらも高い傾向にあるものと推察する。



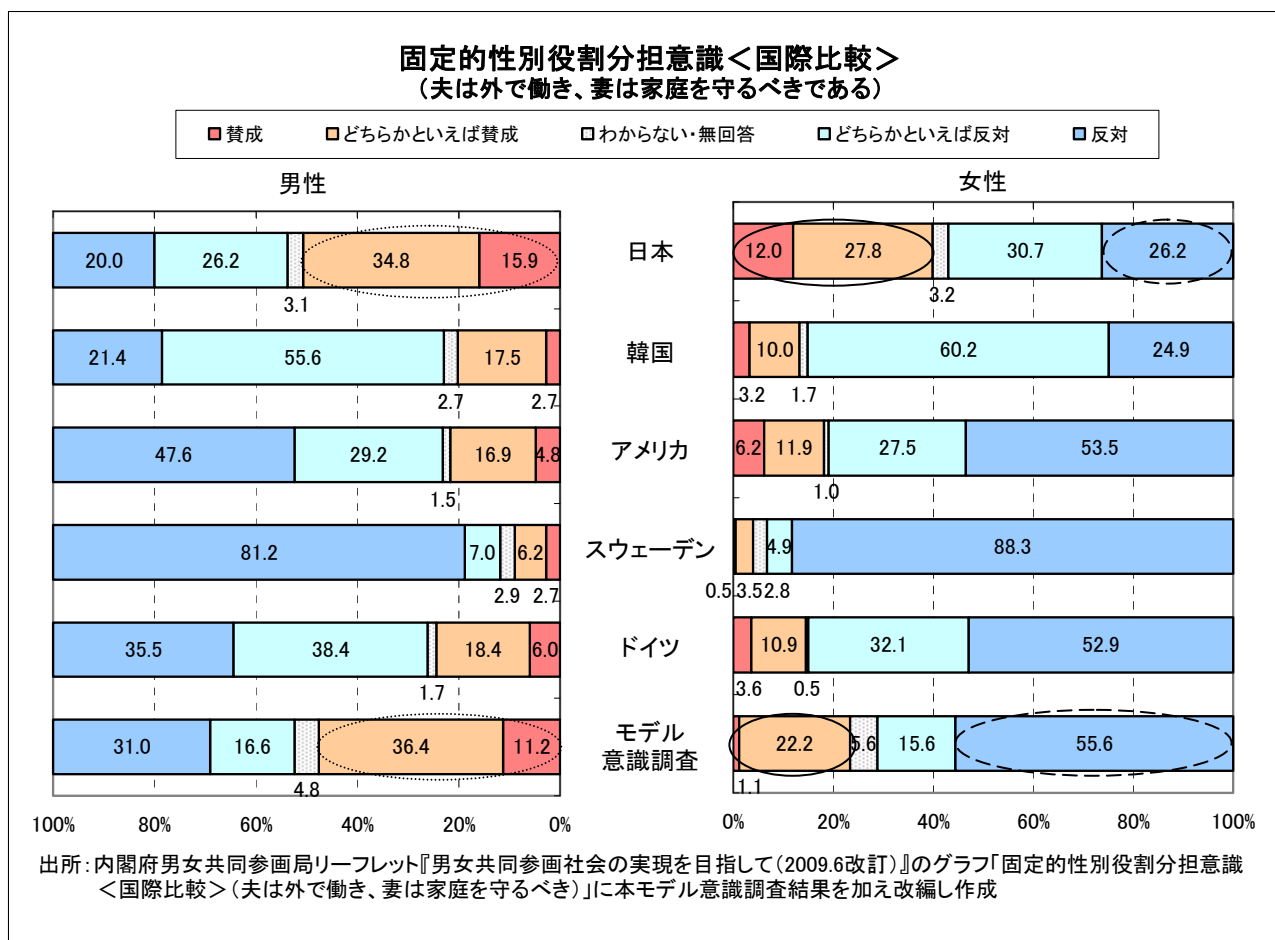
内閣府男女共同参画局のリーフレット『男女共同参画社会の実現を目指して（2009.6改訂）』に掲載された「固定的性別役割分担意識＜経年比較＞（夫は外で働き、妻は家庭を守るべき）」について、本モデル意識調査（経年比較に合わせるため一部改編）では、男性歯科医師の考えは概ね平成19年の世論調査と同様の傾向が示された。女性は55.6%が「反対」、15.6%が「どちらかといえば反対」と考えており、平成19年の世論調査の女性内訳にある「反対」26.2%、「どちらかといえば反対」30.7%に比べ、異なる傾向が窺える。



なお、内閣府男女共同参画局リーフレット『男女共同参画社会の実現を目指して（2009.6改訂）』に掲載された「固定的性別役割分担意識＜国際比較＞（夫は外で働き、妻は家庭を守るべき）」と、本モデル意識調査結果（国際比較に合わせるため一部改編）の比較は以下のとおりである。

本モデル意識調査における女性の「賛成」、「どちらかといえば賛成」との考えは、日本人女性（世論調査の客体）の意識より少ないものの、日本人男性（世論調査の客体）の意識と本モデル調査における男性歯科医師の意識はほぼ同様の結果となった。

また、世論調査の日本人男性及び本モデル調査の男性歯科医師の「賛成」、「どちらかといえば賛成」との考えは他の国に比べ突出して多い傾向を示した。反面、女性歯科医師の「賛成」、「どちらかといえば賛成」との考えは、世論調査の日本人女性の傾向とは異なり他の国に近い傾向を示すとともに、女性歯科医師の「反対」との考えは、日本人女性の2倍にのぼる傾向を示した。

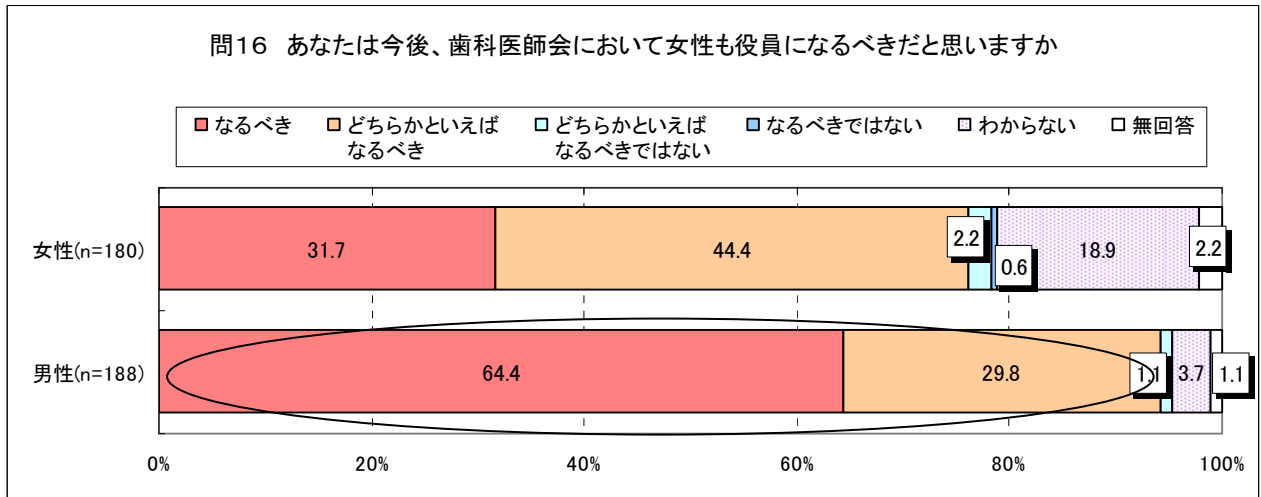


※日本のデータは内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成 19 年 8 月調査）、その他の国のデータは「男女参画社会に関する国際比較調査」（平成 15 年 6 月）による。

2. 歯科医師会における女性会員の参画

歯科医師会において、「女性も役員になるべきとの考え」について、男性のうち64.4%は「なるべき」、29.8%は「どちらかといえばなるべき」と考えており、9割以上が、女性も役員になるべきと考えていることが明らかになった。

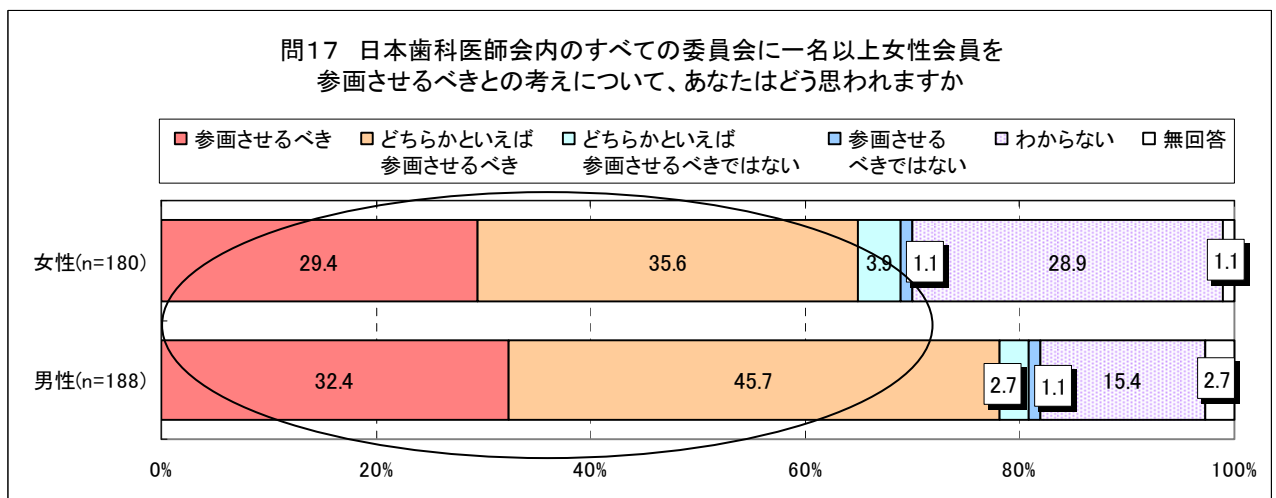
歯科医師会において、男性会員が役員や委員の多くを占めているが、今後、積極的に女性会員が役員や委員に参画するための基盤作りが検討課題となる。また、一方では、女性歯科医師側やその周囲も一層の意識改革が必要であるものと思料する。



日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて、男性のうち45.7%は「どちらかといえば参画させるべき」、32.4%は「参画させるべき」と考えており、8割近くが女性会員を全ての委員会に参画させるべきと考えている。

また、女性のうち35.6%は「どちらかといえば参画させるべき」、29.4%は「参画させるべき」と考えており、6割以上が女性会員は全ての委員会に参画するべきと考えている。

これらの結果から、女性会員の委員会参画を男性会員がより強く望んでいることが見受けられる。



3. クロス集計結果（クロス集計方法を用い、2つの質問項目を“クロス”して表（クロス表）を作成し、相互の関係を明らかにした。）

①問16「歯科医師会役員女性の女性登用」と問10「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」

（目的）女性登用に賛成している回答者が、妻は家庭を守るべきとの考えにより、矛盾が生じていないか調査を試みた。

【女性の回答】

区分		夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである					合計	
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない		無回答
歯科医師会において女性も役員になるべきだと思いますか	なるべき (31.7%)	1 1.8%	7 12.3%	9 15.8%	38 66.7%	2 3.5%	0 0.0%	57 100.0%
	どちらかといえばなるべき (44.4%)	1 1.3%	18 22.5%	14 17.5%	41 51.3%	6 7.5%	0 0.0%	80 100.0%
	どちらかといえばなるべきではない (2.2%)	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	なるべきではない (0.6%)	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	わからない (18.9%)	0 0.0%	12 35.3%	2 5.9%	18 52.9%	2 5.9%	0 0.0%	34 100.0%
合計		2 1.1%	40 22.2%	28 15.6%	100 55.6%	10 5.6%	0 0.0%	180 100.0%

【男性の回答】

区分		夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである					合計	
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない		無回答
歯科医師会において女性も役員になるべきだと思いますか	なるべき (64.4%)	8 6.6%	34 28.1%	24 19.8%	47 38.8%	7 5.8%	1 0.8%	121 100.0%
	どちらかといえばなるべき (29.8%)	9 16.1%	28 50.0%	6 10.7%	11 19.6%	2 3.6%	0 0.0%	56 100.0%
	どちらかといえばなるべきではない (1.1%)	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	なるべきではない (0.0%)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	わからない (3.7%)	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
合計		21 11.2%	68 36.2%	31 16.5%	58 30.9%	9 4.8%	1 0.5%	188 100.0%

女性の回答傾向は、「女性も役員になるべき」若しくは「どちらかといえばなるべき」との回答に対し、「妻は家庭を守るべき」と考えについて「そう思わない」を選択する傾向が目立った。

男性の回答傾向は、「女性も役員になるべき」若しくは「どちらかといえばなるべき」との回答に対し、「妻は家庭を守るべき」と考えについて「どちらかといえばそう思う」を選択する傾向が目立った（赤色○印部）。反面、「女性も役員になるべき」との回答に対し、「妻は家庭を守るべき」との考えについて「そう思わない」および「どちらかといえばそう思わない」を選択する傾向も目立った。

②問16「歯科医師会役員の女性登用」と問11「子育ては、やはり母親でなくては」

(目的) 女性登用に賛成している回答者が、子育てはやはり母親でなくてはどの考えにより、矛盾が生じていないか調査を試みた。

【女性の回答】

区分		子育ては、やはり母親でなくてはと思いますか					合計	
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない		無回答
歯科医師会において女性も役員になるべきだと思いますか	なるべき (31.7%)	5 8.8%	22 38.6%	10 17.5%	19 33.3%	1 1.8%	0 0.0%	57 100.0%
	どちらかといえばなるべき (44.4%)	9 11.3%	40 50.0%	11 13.8%	15 18.8%	5 6.3%	0 0.0%	80 100.0%
	どちらかといえばなるべきではない (2.2%)	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	なるべきではない (0.6%)	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	わからない (18.9%)	4 11.8%	20 58.8%	2 5.9%	6 17.6%	2 5.9%	0 0.0%	34 100.0%
合計	18 10.0%	88 48.9%	24 13.3%	41 22.8%	8 4.4%	1 0.6%	180 100.0%	

【男性の回答】

区分		子育ては、やはり母親でなくてはと思いますか					合計	
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない		無回答
歯科医師会において女性も役員になるべきだと思いますか	なるべき (64.4%)	16 13.2%	65 53.7%	14 11.6%	23 19.0%	2 1.7%	1 0.8%	121 100.0%
	どちらかといえばなるべき (29.8%)	15 26.8%	32 57.1%	5 8.9%	4 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	56 100.0%
	どちらかといえばなるべきではない (1.1%)	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	なるべきではない (0.0%)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	わからない (3.7%)	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
合計	36 19.1%	103 54.8%	19 10.1%	27 14.4%	2 1.1%	1 0.5%	188 100.0%	

女性・男性とも、「女性も役員になるべき」との考えについて「なるべきと」若しくは「どちらかといえばなるべき」回答する中、「子育ては、やはり母親でなくては」との考えについて、「どちらかといえばそう思う」との考えが目立つ一方で、「どちらかといえばそう思わない」若しくは「そう思わない」との考えも目立ち、同性間においても考え方が分かれる結果となった。

③問3「役員等の経験」と問21「歯科医師会役員を経験して得られたこと」

(目的) 回答者が経験して得られたものは、どんな役員経験からによるものか調査を試みた。なお、問21で歯科医師会役員を経験して得られたことと明記したため、バイアスが掛かっていることを留意する必要がある。

【女性の回答】

区分	歯科医師会役員等を経験して得られたこと								合計	
	歯科医師会活動がよくわかるようになった	行政との交流がはかれた	知人が増えた	視野が広がった	医療連携がうまくいくようになった	行動範囲が広がった	社会に貢献できた	その他		
役員等の経験	歯科医師会の役員(43.9%)	36 46.8%	3 3.9%	7 9.1%	24 31.2%	0 0.0%	2 2.6%	4 5.2%	1 1.3%	77 100.0%
	歯科医師連盟の役員(9.4%)	5 38.5%	1 7.7%	2 15.4%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%
	学校歯科医会の役員(8.3%)	6 46.2%	3 23.1%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	13 100.0%
	歯科医師国保組合の役員(2.8%)	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	社保・国保審査会委員(5.0%)	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
合計	38 44.2%	4 4.7%	10 11.6%	25 29.1%	0 0.0%	2 2.3%	5 5.8%	2 2.3%	86 100.0%	

【男性の回答】

区分	歯科医師会役員等を経験して得られたこと								合計	
	歯科医師会活動がよくわかるようになった	行政との交流がはかれた	知人が増えた	視野が広がった	医療連携がうまくいくようになった	行動範囲が広がった	社会に貢献できた	その他		
役員等の経験	歯科医師会の役員(78.2%)	62 44.9%	6 4.3%	14 10.1%	37 26.8%	0 0.0%	6 4.3%	12 8.7%	1 0.7%	138 100.0%
	歯科医師連盟の役員(36.2%)	32 49.2%	2 3.1%	7 10.8%	14 21.5%	0 0.0%	4 6.2%	6 9.2%	0 0.0%	65 100.0%
	学校歯科医会の役員(17.0%)	15 48.4%	3 9.7%	4 12.9%	3 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 19.4%	0 0.0%	31 100.0%
	歯科医師国保組合の役員(13.8%)	13 50.0%	0 0.0%	1 3.8%	9 34.6%	0 0.0%	1 3.8%	2 7.7%	0 0.0%	26 100.0%
	社保・国保審査会委員(14.4%)	13 50.0%	0 0.0%	1 3.8%	9 34.6%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	26 100.0%
合計	65 45.1%	6 4.2%	17 11.8%	37 25.7%	0 0.0%	6 4.2%	12 8.3%	1 0.7%	144 100.0%	

女性・男性とも、歯科医師会の役員を経験して、「歯科医師会がよくわかるようになった」若しくは「視野が広がった」と回答している傾向が目立った。

④問7「女性会員が増えない理由」と問8「どうすれば女性会員が増えるか」

(目的) 増えない各理由に対して、回答者がどのような方策を考えているか、調査を試みた。

【女性の回答】

区分	女性会員が増えない理由	女性会員を増やす方策														合計
		会員種別を見直し、歯科医師会の会費等の費用を下げる	歯科医師会事業への参加負担を減らす	歯科医師会における女性の活動の場を広げる	会員にとって魅力のある講習会等を増やす	歯科医師会の存在意義を説明する機会を増やす	歯科医師会内に女性会員のための委員会などの組織を立ち上げ女性会員同士のコミュニケーションを支援する	育児や介護などで離職していた女性会員への復帰サポートプログラムをつくる	歯科医師会主体の人材バンクによる非常勤歯科医師の派遣	託児、介護、家事などへの支援について歯科医師会が助言等を行う	医療事故、クレーマー、詐欺、防犯等の対策について、歯科医師会がサポートする	女性歯科医師の入会が今後の歯科医師会(活動)に必要であることを男性会員が理解する	女性歯科医師自身が歯科医師会に入会することが必要であることを理解する	その他		
女性会員が増えないのはなぜだと思いますか	歯科医師会に入会するメリットが見えていないから(33.1%)	21	2	7	3	4	3	1	1	0	2	3	8	0	55	
	社会貢献に対する意識が不足しているから(2.4%)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	4	
	歯科医師会に関する情報が不足しているから(1.2%)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
	入会金など費用的な問題があるから(6.5%)	7	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	11	
	家族会員等の自分の望む会員種別がないから(5.9%)	5	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	9	
	妻、母、嫁などの立場があり時間的余裕がないから(45.0%)	10	9	6	4	4	3	10	2	1	1	3	15	1	69	
	歯科医師会に女性会員のための委員会や窓口がないから(3.0%)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	
	家族が入会を希望しないから(1.8%)	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	
	合計	43	12	15	8	9	9	14	3	1	4	9	30	1	158	
	27.2%	7.6%	9.5%	5.1%	5.7%	5.7%	8.9%	1.9%	0.6%	2.5%	5.7%	19.0%	0.6%	100.0%		

【男性の回答】

区分	女性会員が増えない理由	女性会員を増やす方策														合計
		会員種別を見直し、歯科医師会の会費等の費用を下げる	歯科医師会事業への参加負担を減らす	歯科医師会における女性の活動の場を広げる	会員にとって魅力のある講習会等を増やす	歯科医師会の存在意義を説明する機会を増やす	歯科医師会内に女性会員のための委員会などの組織を立ち上げ女性会員同士のコミュニケーションを支援する	育児や介護などで離職していた女性会員への復帰サポートプログラムをつくる	歯科医師会主体の人材バンクによる非常勤歯科医師の派遣	託児、介護、家事などへの支援について歯科医師会が助言等を行う	医療事故、クレーマー、詐欺、防犯等の対策について、歯科医師会がサポートする	女性歯科医師の入会が今後の歯科医師会(活動)に必要であることを男性会員が理解する	女性歯科医師自身が歯科医師会に入会することが必要であることを理解する	その他		
女性会員が増えないのはなぜだと思いますか	歯科医師会に入会するメリットが見えていないから(27.8%)	19	2	5	1	0	5	3	0	1	0	3	4	3	46	
	社会貢献に対する意識が不足しているから(1.2%)	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯科医師会に関する情報が不足しているから(0.0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	入会金など費用的な問題があるから(11.2%)	13	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	19	
	家族会員等の自分の望む会員種別がないから(4.7%)	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	7	
	妻、母、嫁などの立場があり時間的余裕がないから(49.7%)	18	1	10	0	4	15	12	1	2	0	3	13	2	81	
	歯科医師会に女性会員のための委員会や窓口がないから(0.0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	家族が入会を希望しないから(3.0%)	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4	
	合計	55	5	20	1	4	21	16	3	4	0	7	20	7	163	
	33.7%	3.1%	12.3%	0.6%	2.5%	12.9%	9.8%	1.8%	2.5%	0.0%	4.3%	12.3%	4.3%	100.0%		

女性・男性とも、「女性会員が増えない理由」として「歯科医師会に入会するメリットが見えていないから」との回答に対し、「女性会員を増やす方策」として「会員種別を見直し、歯科医師会の会費等の費用を下げる」を選択する傾向が目立った。(赤色○印部分)

また、女性・男性とも、「妻、母、嫁などの立場があり時間的余裕がないから」との回答に対し、「女性会員を増やす方策」として「女性歯科医師自身が歯科医師会に入会することが必要であることを理解する」を選択する傾向が目立ったほか(青色○印部分)、「育児や介護などで離職していた女性会員への復帰サポートプログラムをつくる」等が目立った。

⑤問13-2「職場における男女平等性」もしくは問13-6「社会通念・習慣・しきたりにおける男女平等性」と問18「歯科医師会における女性会員が少ない理由」

(目的) 問13に対して約8割以上の回答者が「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との考えに着目し、女性会員が少ない理由について調査を試みた。

【女性の回答】

区分		歯科医師会役員に女性会員が少ない理由								合計
		診療に加えて家事等の負担が大きく時間的余裕がないから	体力的な問題から	歯科医師会の会務運営に意欲的な女性会員が少ないから	会務をわかっていない人が多そう、役員としての資質に不安があるから	男性同士のコミュニケーションの輪に女性が入ることが困難だから	家族(配偶者など)の反対や地域の風潮が妨げとなっているから	そもそもの会員数(絶対数)が少ないから	その他	
職場における男女平等性	女性の方が非常に優遇されている(0.6%)	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	どちらかと言えば女性の方が優遇されている(6.1%)	4 36.4%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	11 100.0%
	平等である(25.6%)	21 48.8%	0 0.0%	8 18.6%	2 4.7%	3 7.0%	0 0.0%	5 11.6%	4 9.3%	43 100.0%
	どちらかといえば男性の方が優遇されている(45.0%)	34 42.5%	1 1.3%	13 16.3%	4 5.0%	11 13.8%	4 5.0%	11 13.8%	2 2.5%	80 100.0%
	男性の方が非常に優遇されている(15.0%)	9 36.0%	0 0.0%	5 20.0%	1 4.0%	4 16.0%	0 0.0%	4 16.0%	2 8.0%	25 100.0%
	わからない(7.8%)	8 57.1%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	14 100.0%
合計	77 44.3%	1 0.6%	31 17.8%	8 4.6%	19 10.9%	4 2.3%	23 13.2%	11 6.3%	174 100.0%	

【男性の回答】

区分		歯科医師会役員に女性会員が少ない理由								合計
		診療に加えて家事等の負担が大きく時間的余裕がないから	体力的な問題から	歯科医師会の会務運営に意欲的な女性会員が少ないから	会務をわかっていない人が多そう、役員としての資質に不安があるから	男性同士のコミュニケーションの輪に女性が入ることが困難だから	家族(配偶者など)の反対や地域の風潮が妨げとなっているから	そもそもの会員数(絶対数)が少ないから	その他	
職場における男女平等性	女性の方が非常に優遇されている(0.5%)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	どちらかと言えば女性の方が優遇されている(4.3%)	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	8 100.0%
	平等である(21.3%)	14 35.0%	0 0.0%	11 27.5%	1 2.5%	2 5.0%	2 5.0%	10 25.0%	0 0.0%	40 100.0%
	どちらかといえば男性の方が優遇されている(53.2%)	53 54.1%	0 0.0%	17 17.3%	1 1.0%	8 8.2%	0 0.0%	19 19.4%	0 0.0%	98 100.0%
	男性の方が非常に優遇されている(14.4%)	14 56.0%	0 0.0%	5 20.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	4 16.0%	0 0.0%	25 100.0%
	わからない(4.8%)	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	9 100.0%
合計	92 50.3%	0 0.0%	35 19.1%	2 1.1%	12 6.6%	2 1.1%	40 21.9%	0 0.0%	183 100.0%	

女性・男性とも、「職場における男女平等性」について「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答に対し、「歯科医師会役員に女性会員が少ない理由」として「診療に加えて家事等の負担が大きく時間的余裕がないから」、「歯科医師会の会務運営に意欲的な女性会員が少ないから」を選択する傾向が目立った。会務運営に意欲的な人材（歯科医師会の役員や委員等として参画することをはじめ、地域住民への公衆衛生活動等に積極的に参画する人材）とは、性差によるものなのか、教育、環境など後天的なものによるかは、今後の論を待つ必要がある。

なお、「優遇」について、女性と男性で捉え方が違う可能性があることも考慮する必要がある。

⑥問17「日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて」と問3「役員等の経験」

(目的) 委員会に女性を一名以上参画させるべきとの回答者(あるいは、どちらかといえば参画させるべきとの回答者)について、どのような役員経験があるか調査を試みた。

※問3「役員等の経験」は複数回答であることから、横軸の合計値は回答者数(サンプル数)であり、横軸の件数の合計値とは異なる。

【女性の回答】

区分		役員経験								合計※
		歯科医師会の役員	歯科医師連盟の役員	学校歯科医師会の役員	歯科医師国保組合の役員	社保・国保審査会委員	ない	その他	無回答	
日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて	参画させるべき(29.4%)	31 58.5%	11 20.8%	8 15.1%	3 5.7%	4 7.5%	16 30.2%	3 5.7%	0 0.0%	53 100.0%
	どちらかといえば参画させるべき(35.6%)	29 45.3%	3 4.7%	5 7.8%	1 1.6%	4 6.3%	26 40.6%	2 3.1%	1 1.6%	64 100.0%
	どちらかといえば参画させるべきではない(3.9%)	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
	参画させるべきではない(1.1%)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	わからない(28.9%)	17 32.7%	3 5.8%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	30 57.7%	2 3.8%	1 1.9%	52 100.0%
合計	79 43.9%	17 9.4%	15 8.3%	5 2.8%	9 5.0%	81 45.0%	7 3.9%	2 1.1%	180 100.0%	

【男性の回答】

区分		役員経験								合計※
		歯科医師会の役員	歯科医師連盟の役員	学校歯科医師会の役員	歯科医師国保組合の役員	社保・国保審査会委員	ない	その他	無回答	
日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて	参画させるべき(32.4%)	44 72.1%	22 36.1%	7 11.5%	10 16.4%	5 8.2%	14 23.0%	2 3.3%	0 0.0%	61 100.0%
	どちらかといえば参画させるべき(45.7%)	71 82.6%	27 31.4%	12 14.0%	11 12.8%	15 17.4%	11 12.8%	1 1.2%	1 1.2%	86 100.0%
	どちらかといえば参画させるべきではない(2.7%)	5 100.0%	4 80.0%	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	参画させるべきではない(1.1%)	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	わからない(15.4%)	21 72.4%	13 44.8%	5 17.2%	5 17.2%	5 17.2%	6 20.7%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%
合計	147 78.2%	68 36.2%	32 17.0%	26 13.8%	27 14.4%	32 17.0%	3 1.6%	1 0.5%	188 100.0%	

女性・男性とも、「日本歯科医師会内のすべての委員会に一人以上女性会員を参画させるべき」との考えについて、歯科医師会の役員経験者の多くが「参画させるべき」若しくは「どちらかといえば参画させるべき」を選択する傾向が目立った。男性においては、その希望が顕著であることから、歯科医師会活動において特に、女性会員の参画が求められていることが見受けられる。

⑥' 問17「日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて」回答した「男女の年齢」

【女性の回答】

		40歳未満	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて	参画させるべき(29.4%)	6 11.3%	10 18.9%	18 34.0%	19 35.8%	53 100.0%
	どちらかといえば参画させるべき(35.6%)	15 23.4%	18 28.1%	14 21.9%	17 26.6%	64 100.0%
	どちらかといえば参画させるべきではない(3.9%)	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	7 100.0%
	参画させるべきではない(1.1%)	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
	わからない(28.9%)	19 36.5%	19 36.5%	8 15.4%	6 11.5%	52 100.0%
合計	42 23.3%	49 27.2%	46 25.6%	43 23.9%	180 100.0%	

【男性の回答】

		40歳未満	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて	参画させるべき(32.4%)	16 26.2%	9 14.8%	18 29.5%	18 29.5%	61 100.0%
	どちらかといえば参画させるべき(45.7%)	18 20.9%	26 30.2%	25 29.1%	17 19.8%	86 100.0%
	どちらかといえば参画させるべきではない(2.7%)	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	5 100.0%
	参画させるべきではない(1.1%)	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
	わからない(15.4%)	9 31.0%	7 24.1%	4 13.8%	9 31.0%	29 100.0%
合計	44 23.4%	46 24.5%	49 26.1%	49 26.1%	188 100.0%	

日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきと考えているのは、概ね50歳代と60歳以上の女性に多く見られることから、これまでの経験を踏まえての意見と推察される。一方、男性においては、すべて年代が概ね均等な結果となった。

IV. おわりに

女性会員が増えない要因として、「歯科医師会に入会するメリットが見えていないから」が上位に挙げられた。今後、歯学部教育の中で歯科医師会の必要性を理解してもらう機会を設けることや、臨床研修中に日本歯科医師会に賛助会員として入会できるような会員種別の仕組みづくり等、総合的な対策が必要と考える。

また委員から、本委員会の開催を重ねる毎に日本歯科医師会に対する愛着が以前よりも増し、身近な存在になったとの声が挙げられた。一人でも多くの女性会員が歯科医師会事業に無理せず参画でき関心を持ってもらうことができれば、未入会者の友人や後輩達と集う機会に、参画した女性会員が入会意欲を与える一役を担ってもらえる可能性が広がる。このような身近で確かなコミュニケーションこそ、未入会者対策に奏功する手段の一つと考える。

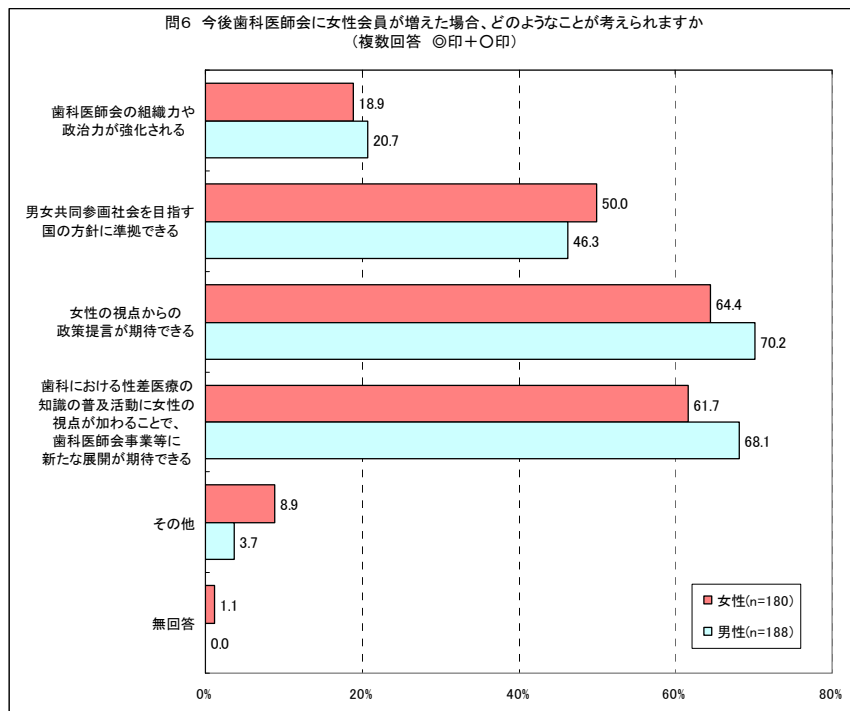
したがって、予算等の問題は軽視できないが、できる限り多くの委員会の定員数に、ブロック制代表者の定員とは別枠で、女性会員の参画枠を設けられるような取組みを望みたい。まずは、日本歯科医師会がより身近なところから男女共同参画に取り組み、都道府県歯科医師会をはじめ郡市区歯科医師会へ模範を示す立場にならなければならない。

なお、本モデル意識調査の回答者は、日本歯科医師会会員を主とした 368 名の歯科医師の方々であり、その選出方法は無作為抽出ではなく、都道府県歯科医師会のご協力のもと選出された 40 歳未満・40 歳代・50 歳代・60 歳以上の各年齢層の男女であるため、選出の時点でバイアスがかかっていることをご留意いただいた上で、お読み取りいただきたい。

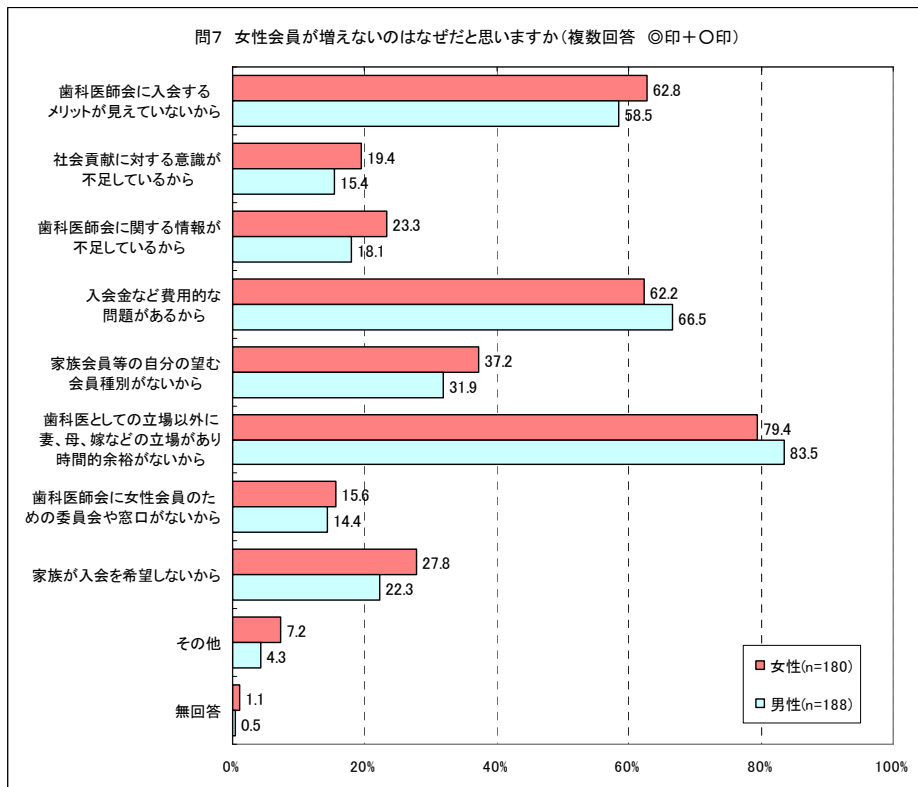
資 料 編

1. 集計結果グラフ (複数回答◎印+○印)

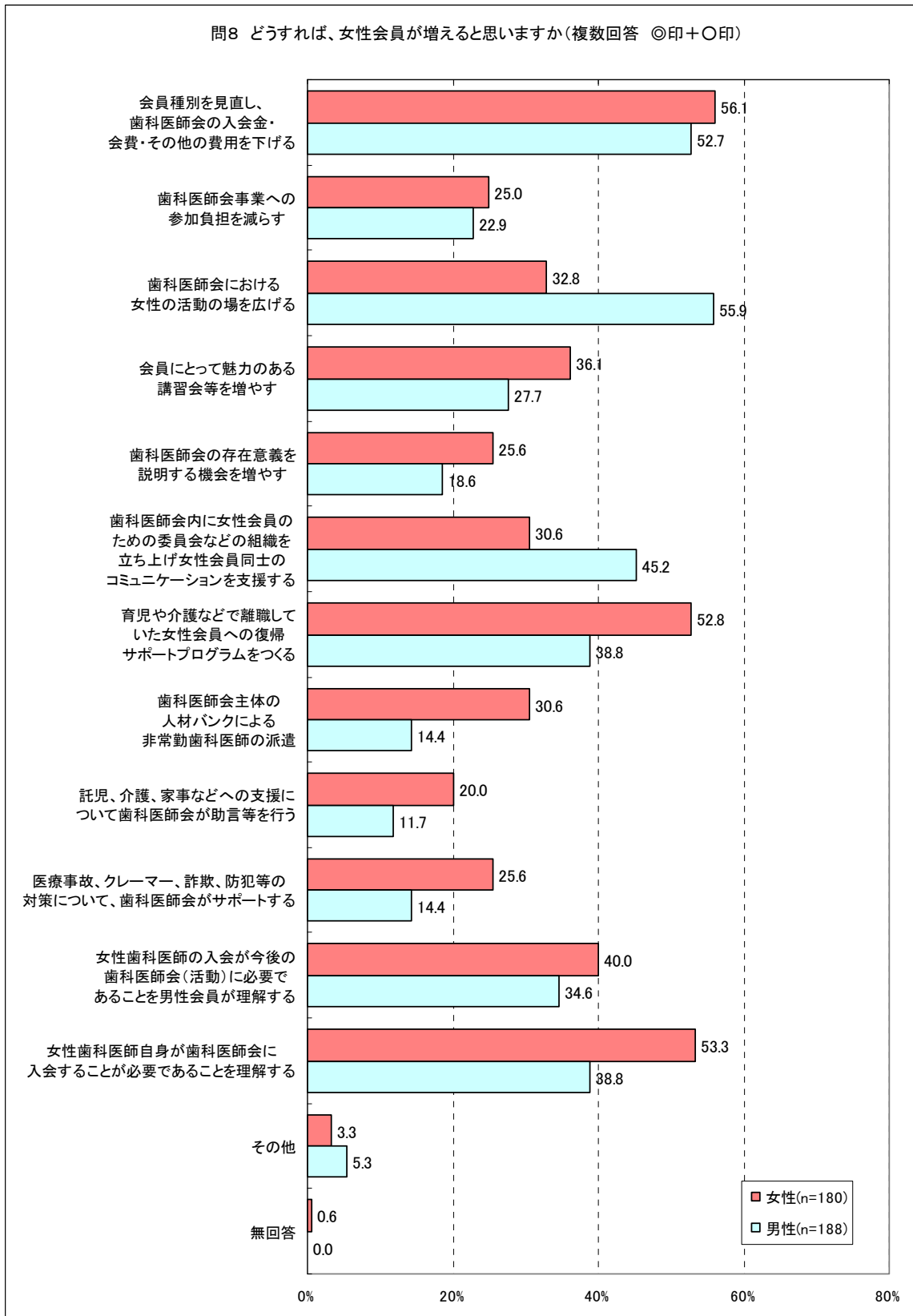
問6 今後歯科医師会に女性会員が増えた場合、どのようなことが考えられますか (複数回答 ◎印+○印)



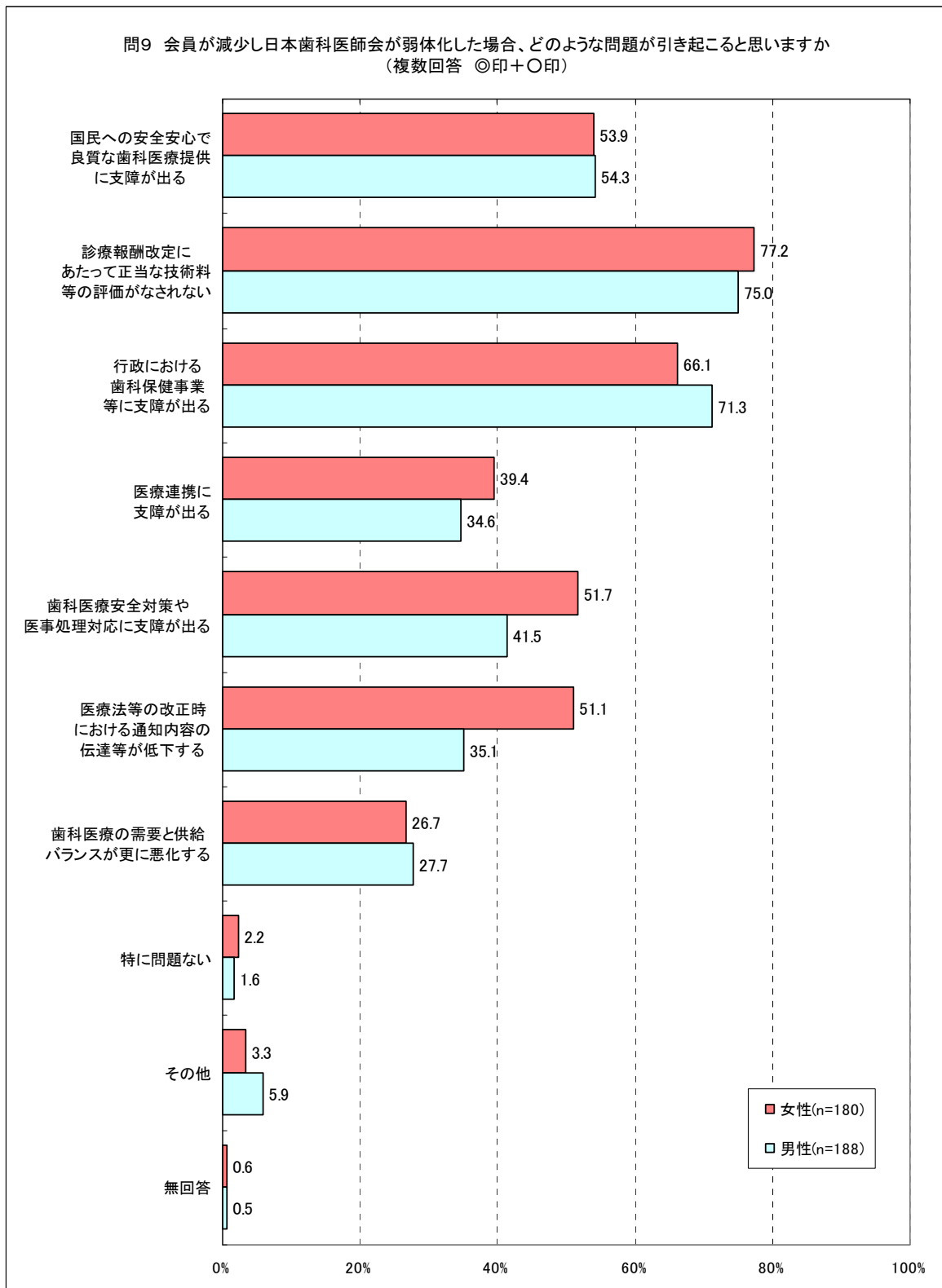
問7 女性会員が増えないのはなぜだと思いますか。(複数回答 ◎印+○印)



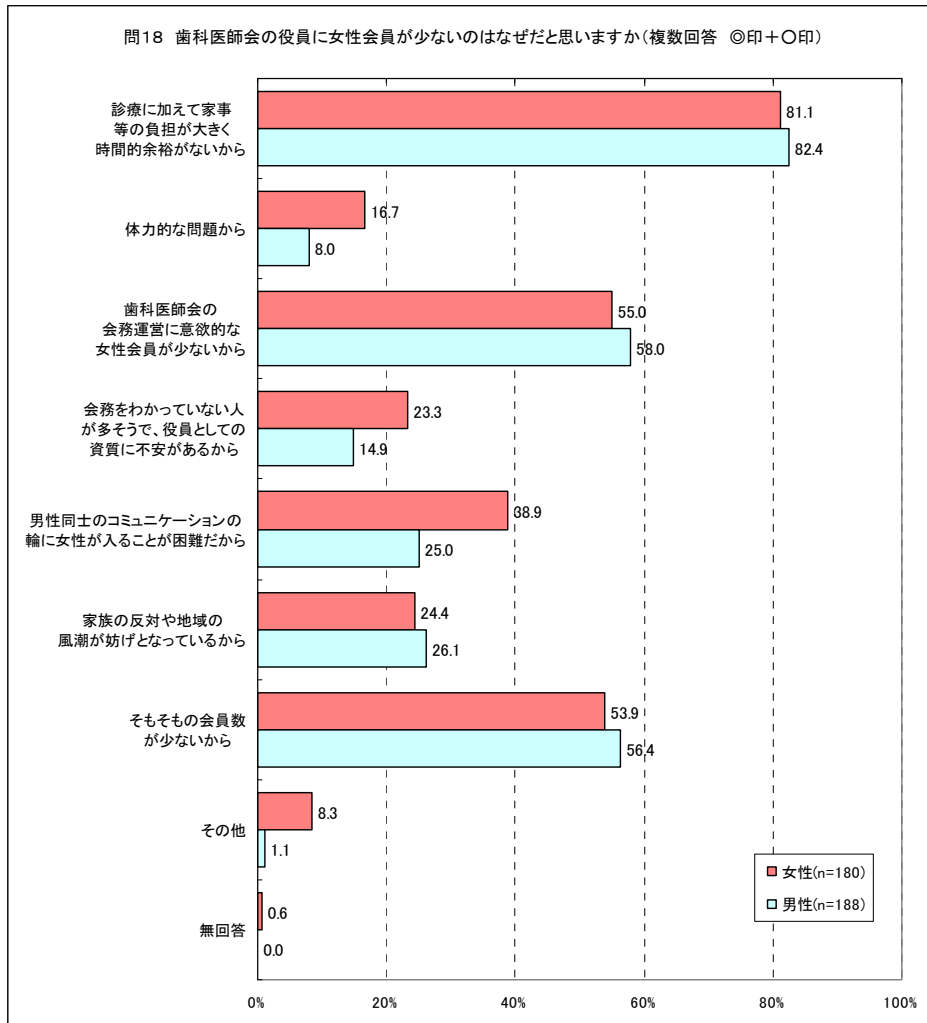
問8 どうすれば、女性会員が増えると思いますか。(複数回答 ◎印+○印)



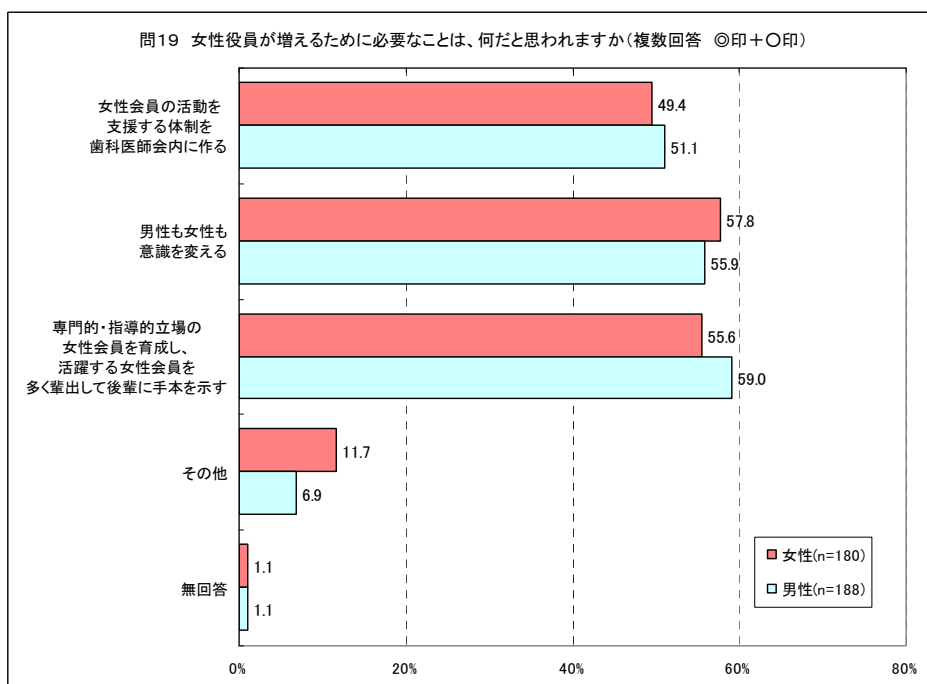
問9 会員が減少し日本歯科医師会が弱体化した場合、どのような問題が引き起こると思いますか。(複数回答 ◎印+○印)



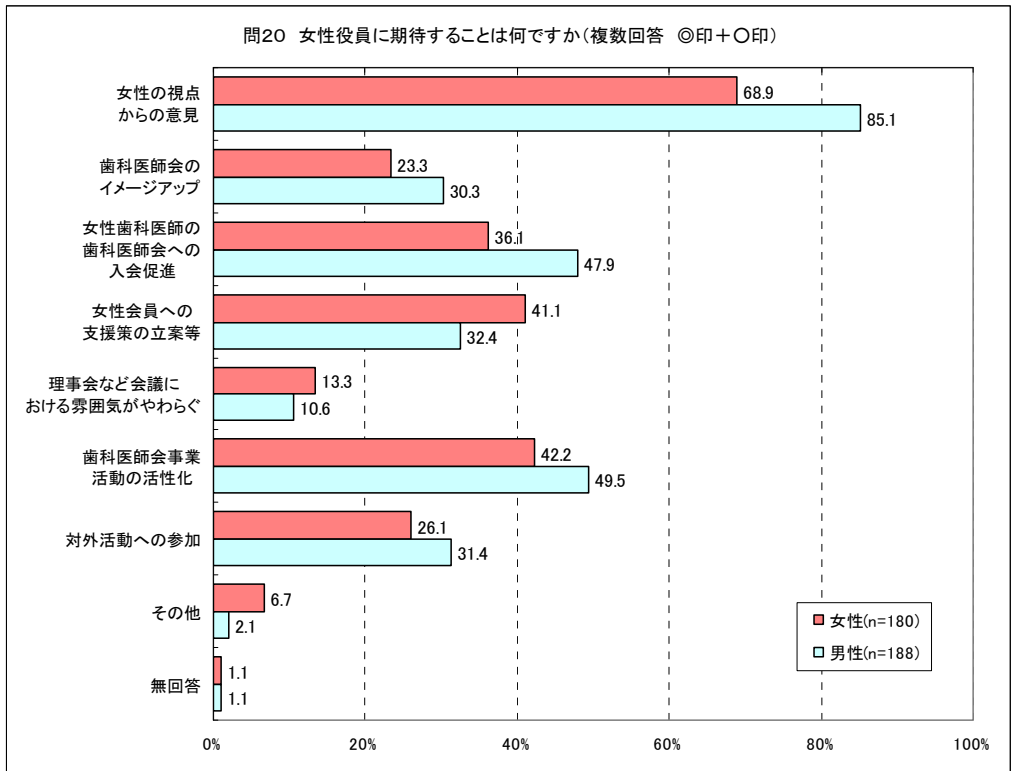
問 1 8 歯科医師会の役員に女性会員が少ないのはなぜだと思いますか。(複数回答 ◎印+○印)



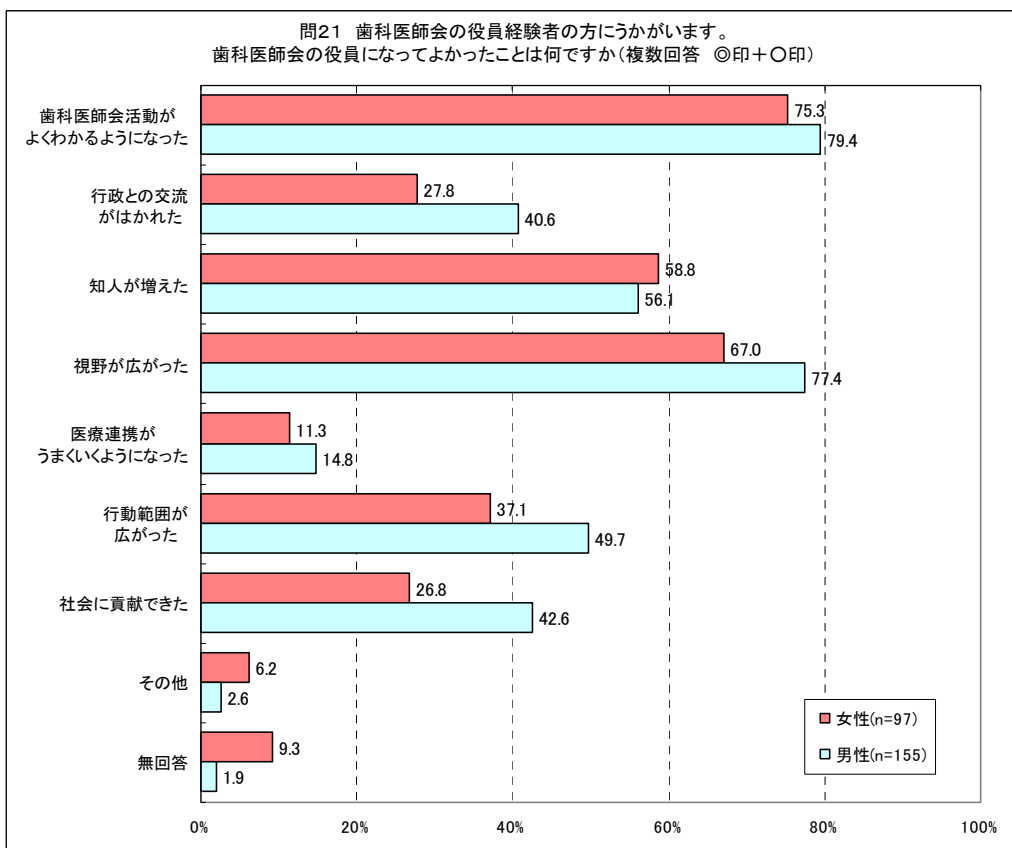
問 1 9 女性役員が増えるために必要なことは、何だと思われますか。(複数回答 ◎印+○印)



問20 女性役員に期待することは何ですか。(複数回答 ◎印+○印)



問21 歯科医師会の役員経験者の方にうかがいます。歯科医師会の役員になってよかったことは何ですか。(複数回答 ◎印+○印)



2. 調査票

歯科医師会における男女共同参画等に関する

モデル意識調査

<調査の目的>

これまで女性歯科医師に関するアンケートは全国において実施され、複数の報告がなされています。

今回、日本歯科医師会「女性歯科医師の活動に関する検討委員会」では、女性歯科医師の活動を取り巻く諸問題への対応を検討しており、歯科医師会における女性会員の活動環境を整備し、より活動を行いやすくするために、各年代の男女会員の先生方にモデル調査をお願いすることにいたしました。

今回のアンケートは、先生方の女性会員に対する意識調査のみならず男女共同参画や女性会員が歯科医師会の役員になることへの意識調査も含まれています。歯科医師会が将来にわたってより充実した活動を続け、その役割を一層強力に果たしていくために、男女会員に等しく参画を促すきっかけをつくるべく、何卒ご協力の程お願いいたします。

<ご記入にあたってのお願い>

- ・本調査は、女性会員に対する意識や男女共同参画に関する意識等を把握することを目的とします。回答にお時間がかかるかと思いますが、何卒ご協力の程お願い申し上げます。
- ・本アンケートの質問は全部で6ページあります。
- ・回答の際には、質問をよく読み、指示に従ってお答えください。
- ・ご記入済みの調査票は、**平成22年1月22日（金）までに** ご所属の都道府県歯科医師会へご提出くださいますようお願い申し上げます。

本調査は、都道府県歯科医師会のご協力を得て日本歯科医師会が実施し、集計作業・分析等は、女性歯科医師の活動に関する検討委員会で行います。

【問合せ先】

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20

日本歯科医師会 厚生会員課

Tel : 03-3262-9323 Fax : 03-5211-7324 (担当 : 辻・植竹・高山・齊藤)

問1 あなたの年齢はどちらに当てはまりますか。(○印は1つ)

1. 40歳未満 2. 40歳代 3. 50歳代 4. 60歳以上

問2 あなたの性別は？(○印は1つ)

1. 女性 2. 男性

問3 役員等の経験はありますか。(あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

1. 歯科医師会の役員(日歯・都道府県歯会・郡市区歯会)
2. 歯科医師連盟の役員(日歯連盟・都道府県連盟・郡市区連盟)
3. 学校歯科医会の役員(日学歯・都道府県学歯・郡市区学歯)
4. 歯科医師国保組合の役員 5. 社保・国保審査会委員
6. ない 7. その他()

問4 現在、歯科大学の学生における女性の割合は40%に達しようとしています。今後歯科医師会における女性の割合は増えていくと思いますか？(現在、日本歯科医師会の女性会員の割合は、約8.8%です。)(○印は1つ)

1. 増えると思う 2. どちらかといえば増えると思う 3. 変わらないと思う
4. どちらかといえば減ると思う 5. 減ると思う 6. わからない

問5 あなたは今後、女性会員が増えることは歯科医師会にとって必要なことだと思いますか。(○印は1つ)

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない 5. どちらとも思わない

問6 今後歯科医師会に女性会員が増えた場合、どのようなことが考えられますか。(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

1. 歯科医師会の組織力や政治力が強化される
2. 男女共同参画社会を目指す国の方針に準拠できる
3. 女性の視点からの政策提言が期待できる
4. 歯科における性差医療※の知識の普及活動に女性の視点が加わることで、歯科医師会事業等に新たな展開が期待できる
5. その他()

※性差医療：内閣府の男女共同参画基本計画(第2次)には、男女の性差に応じた的確な医療の推進として、医療関係者及び国民に男女の性差医療についての知識の普及を図ることが挙げられている。

問7 女性会員が増えないのはなぜだと思いますか。(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

1. 歯科医師会に入会するメリットが見えていないから
2. 社会貢献に対する意識が不足しているから
3. 歯科医師会に関する情報が不足しているから
4. 入会金など費用的な問題があるから
5. 家族会員等の自分の望む会員種別がないから
6. 歯科医としての立場以外に妻、母、嫁などの立場があり時間的余裕がないから
7. 歯科医師会に女性会員のための委員会や窓口がないから
8. 家族(配偶者など)が入会を希望しないから
9. その他()

問8 どうすれば、女性会員が増えると思いますか。(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

1. 会員種別を見直し、歯科医師会の入会金・会費・その他の費用を下げる
2. 歯科医師会事業への参加負担を減らす
3. 歯科医師会における女性の活動の場を広げる
4. 会員にとって魅力のある講習会等を増やす
5. 歯科医師会の存在意義を説明する機会を増やす
6. 歯科医師会内に女性会員のための委員会などの組織を立ち上げ女性会員同士のコミュニケーションを支援する
7. 育児や介護などで離職していた女性会員への復帰サポートプログラムをつくる(歯科医師会に入会するとそのサポートが受けられる等)
8. 歯科医師会主体の人材バンクによる非常勤歯科医師の派遣
9. 託児、介護、家事などへの支援について歯科医師会が助言等を行う
10. 医療事故、クレーマー、詐欺、防犯等の対策について、歯科医師会がサポートする
11. 女性歯科医師の入会が今後の歯科医師会(活動)に必要なことを男性会員が理解する
12. 女性歯科医師(会員でない女性歯科医師も含む)自身が歯科医師会に入会することが必要であることを理解する
13. その他()

問9 会員が減少し日本歯科医師会が弱体化した場合、どのような問題が引き起こると思いますか。
(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 国民への安全安心で良質な歯科医療提供に支障が出る2. 診療報酬改定にあたって正当な技術料等の評価がなされない3. 行政における歯科保健事業等に支障が出る4. 医療連携に支障が出る5. 歯科医療安全対策や医事処理対応に支障が出る6. 医療法等の改正時における通知内容の伝達等が低下する7. 歯科医療の需要と供給バランスが更に悪化する8. 特に問題ない9. その他 () |
|---|

(1) 性別役割分担意識について

問10 性別役割分担意識についておたずねします。あなたは、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』と思いますか。(○印は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. そう思う2. どちらかといえばそう思う3. どちらかといえばそう思わない4. そう思わない5. わからない |
|--|

問11 子育ては、やはり母親でなくてはと思いますか。(○印は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. そう思う2. どちらかといえばそう思う3. どちらかといえばそう思わない4. そう思わない5. わからない |
|--|

問12 歯科医師会など団体の代表者は、男性のほうがうまくいくと思いますか。(○印は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. そう思う2. どちらかといえばそう思う3. どちらかといえばそう思わない4. そう思わない5. わからない6. 男女に関係なく代表者の人物による |
|--|

(2) 地位の平等性について

問13 あなたは、次の1.～7.の地位は男女平等になっていると思いますか。次の選択肢の中からそれぞれ当てはまるアルファベットを記載してください。(選択肢・アルファベットは1つ)

1. 家庭生活	()
2. 職場	()
3. 教育 (小学校～大学)	()
4. 政治	()
5. 法律や制度	()
6. 社会通念・習慣・しきたり	()
7. 歯科医師会	()

【選択肢】

- A. 女性の方が非常に優遇されている
- B. どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- C. 平等である
- D. どちらかといえば男性の方が優遇されている
- E. 男性の方が非常に優遇されている
- F. わからない

(3) 平成11年に施行された「男女共同参画社会基本法」(平成十一年六月二十三日法律第七十八号)について

問14 「男女共同参画社会基本法」についてご存じですか。(○印は1つ)

1. よく知っている	2. 多少知っている	3. 言葉は聞いたことがある
4. あまりよく知らない	5. 全く知らない	

問15 「男女共同参画社会基本法」の条文に、「少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化等我が国の社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、緊要な課題となっている」との一文があり国家戦略として進められていることがわかりますが、男女が共同で仕事に当たるべきという同法の考え方は、歯科医師会の今後の活動にも当てはまると思いますか。(○印は1つ)

1. 当てはまる	2. どちらかといえば当てはまる			
3. どちらかといえば当てはまらない	4. 当てはまらない	5. わからない		

問16 あなたは今後、歯科医師会において女性も役員になるべきだと思いますか。(○印は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. なるべき | 2. どちらかといえばなるべき |
| 3. どちらかといえばなるべきではない | 4. なるべきではない |
| 5. わからない | |

問17 日本歯科医師会内のすべての委員会に一名以上女性会員を参画させるべきとの考えについて、あなたはどう思われますか。(○印は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 参画させるべき | 2. どちらかといえば参画させるべき |
| 3. どちらかといえば参画させるべきではない | 4. 参画させるべきではない |
| 5. わからない | |

問18 歯科医師会の役員に女性会員が少ないのはなぜだと思いますか。(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 診療に加えて家事等の負担が大きく時間的余裕がないから |
| 2. 体力的な問題から |
| 3. 歯科医師会の会務運営に意欲的な女性会員が少ないから |
| 4. 会務をわかっていない人が多そうで、役員としての資質に不安があるから |
| 5. 男性同士のコミュニケーションの輪に女性が入ることが困難だから |
| 6. 家族(配偶者など)の反対や地域の風潮が妨げとなっているから |
| 7. そもそもの会員数(絶対数)が少ないから |
| 8. その他() |

問19 女性役員が増えるために必要なことは、何だと思われますか。(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

- | |
|---|
| 1. 女性会員の活動を支援する体制を歯科医師会内に作る |
| 2. 男性も女性も意識を変える |
| 3. 専門的・指導的立場の女性会員を育成し、活躍する女性会員を多く輩出して後輩に手本を示す |
| 4. その他() |

問20 女性役員に期待することは何ですか。(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

1. 女性の視点からの意見
2. 歯科医師会のイメージアップ
3. 女性歯科医師の歯科医師会への入会促進
4. 女性会員への支援策の立案等
5. 理事会など会議における雰囲気がやわらぐ
6. 歯科医師会事業活動の活性化
7. 対外活動への参加
8. その他 ()

問21 歯科医師会の役員経験者の方にうかがいます。歯科医師会の役員になってよかったことは何ですか。(最も当てはまる項目1つだけに◎印、その他あてはまる項目全てに○印、「その他」を選択された場合は記入欄に必要事項を併せてご記入ください。)

1. 歯科医師会活動がよくわかるようになった
2. 行政との交流がはかれた
3. 知人が増えた
4. 視野が広がった
5. 医療連携がうまくいくようになった
6. 行動範囲が広がった
7. 社会に貢献できた
8. その他 ()

お忙しいところご協力いただき誠にありがとうございました。

本調査において得た情報につきましては、本調査のためのデータベース化資料以外には使用いたしません。もしも、これ以外の目的に使用する場合は別途ご連絡いたします。

女性歯科医師の活動に関する検討委員会

<委 員>

委員長	倉 治	ななえ
副委員長	杉 山	紀 子
委員	長 野	えり子
委員	菊 地	敦 子
委員	大 塚	啓 子
委員	齋 藤	秀 子
委員	溝 口	万里子
委員	小 林	誠 子
委員	平 塚	紀代美
委員	草 間	由 紀
委員	中 川	操
委員	比 嘉	奈津美

<役 員>

常務理事	日 高	潤 二
理 事	林	伸 伍

歯科医師会における男女共同参画等に関する モデル意識調査報告書

平成22年6月

社団法人 日本歯科医師会
女性歯科医師の活動に関する検討委員会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-20

TEL 03-3262-9323 (厚生会員課) FAX 03-3262-9885